

釧路根室国有林の 地域別の森林計画書

(釧路根室森林計画区)

計画期間

自	令和 4年 4月 1日
至	令和14年 3月31日

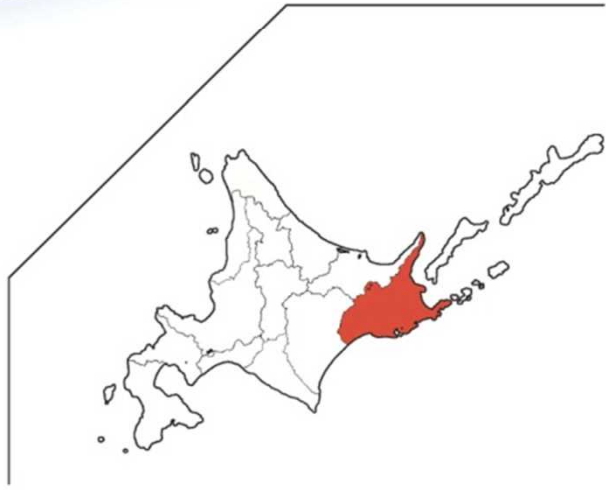
樹立年月日：令和 3年12月24日

北海道森林管理局

釧路根室森林計画区の位置図



凡 例	
国 有 林	
主 要 山 岳	
鉄 道	
森林計画区界	
市 町 村 界	
振 興 局 界	
森林管理署等	
森林管理署界	



は し が き

この計画は、森林法第7条の2の規定に基づき、全国森林計画に即して、釧路根室森林計画区に係る国有林について、公益的機能別施業森林の区域及び施業方法、並びにその整備及び保全の目標その他森林の整備及び保全に関する基本的事項等を定めるものです。

目 次

I	計画の大綱	
1	森林計画区の概況	1
	(1) 位置	
	(2) 自然的背景	
	(3) 社会経済的背景	
	(4) 森林・林業・木材産業の概況	
2	前計画の実行結果の概要及びその評価	2
	(1) 伐採立木材積	
	(2) 人工造林・天然更新別面積	
	(3) 間伐面積	
	(4) 林道の開設又は拡張の数量	
	(5) 保安林の整備	
	(6) 治山事業	
3	計画樹立に当たっての基本的な考え方	4
II	計画事項	
第1	計画の対象とする森林の区域	6
第2	森林の整備及び保全に関する基本的な事項	
1	森林の整備及び保全の目標その他森林の整備及び保全に関する基本的な事項	6
	(1) 森林の整備及び保全の目標	
	(2) 森林の整備及び保全の基本方針	
	(3) 計画期間において到達し、かつ、保持すべき森林資源の状態等	
2	その他必要な事項	10
第3	森林の整備に関する事項	
1	森林の立木竹の伐採に関する事項（間伐に関する事項を除く。）	12
	(1) 立木の伐採（主伐）の標準的な方法	
	(2) 立木の標準伐期齢	
	(3) その他必要な事項	
2	造林に関する事項	15
	(1) 人工造林に関する事項	
	(2) 天然更新に関する事項	
	(3) その他必要な事項	

3	間伐及び保育に関する事項	18
	(1) 間伐の標準的な方法	
	(2) 保育の標準的な方法	
	(3) その他必要な事項	
4	公益的機能別施業森林等の整備に関する事項	20
	(1) 公益的機能別施業森林の区域及び当該区域における施業の方法	
	(2) その他必要な事項	
5	林道等の開設その他林産物の搬出に関する事項	22
	(1) 林道等の開設及び改良に関する基本的な考え方	
	(2) 効率的な森林施業を推進するための路網密度の水準及び作業システムの基本的な考え方	
	(3) 更新を確保するため林産物の搬出方法を特定する森林の所在及びその搬出方法	
	(4) その他必要な事項	
6	森林施業の合理化に関する事項	24
	(1) 林業に従事する者の養成及び確保に関する方針	
	(2) 作業システムの高度化に資する林業機械の導入の促進に関する方針	
	(3) 林産物の利用促進のための施設の整備に関する方針	
	(4) その他必要な事項	
第4	森林の保全に関する事項	
1	森林の土地の保全に関する事項	25
	(1) 土地の形質の変更に当たって留意すべき事項	
	(2) 樹根及び表土の保全その他森林の土地の保全に特に留意すべき森林の地区	
	(3) 森林の土地の保全のため林産物の搬出方法を特定する必要がある森林及びその搬出方法	
	(4) その他必要な事項	
2	保安施設に関する事項	25
	(1) 保安林の整備に関する事項	
	(2) 保安施設地区の指定に関する事項	
	(3) 治山事業の実施に関する事項	
	(4) その他必要な事項	
3	鳥獣害の防止に関する事項	27
	(1) 鳥獣害防止森林区域及び当該区域内における鳥獣害の防止の方法	
4	森林病虫害の駆除及び予防その他森林の保護に関する事項	27
	(1) 森林病虫害等の被害対策の方針	

- (2) 鳥獣による森林被害対策の方針
- (3) 林野火災の予防の方針
- (4) その他必要な事項

第5 計画量等

1	伐採立木材積	-----	28
2	間伐面積	-----	29
3	人工造林及び天然更新別の造林面積	-----	29
4	林道の開設又は拡張に関する計画	-----	29
5	保安林整備及び治山事業に関する計画	-----	29
	(1) 保安林として管理すべき森林の種類別面積等		
	(2) 保安施設地区として指定することを相当とする土地の所在及び面積等		
	(3) 実施すべき治山事業の数量		

第6 その他必要な事項

1	保安林その他法令により施業について制限を受けている森林の施業方法	-----	30
2	その他必要な事項	-----	33

Ⅲ 別表

別表1	公益的機能別施業森林の区域及び当該区域内における施業方法	-----	1
別表2	樹根及び表土の保全その他森林の土地の保全に特に留意すべき森林の地区	---	3
別表3	鳥獣害防止森林区域	-----	4
別表4	開設又は拡張すべき林道の種類別及び箇所別の数量等	-----	5
別表5	治山事業の数量	-----	7
別表6	法令により施業について制限を受けている森林の施業方法	-----	8

(附) 参考資料

1	森林計画区の概況		
	(1) 市町村別土地面積及び森林面積	-----	1
	(2) 地況	-----	1
	(3) 土地利用の状況	-----	3
	(4) 産業別就業者数	-----	3
2	森林の現況		
	(1) 齢級別森林資源表	-----	4
	(2) 制限林普通林別森林資源表	-----	9

(3) 市町村別森林資源表	10
(4) 制限林の種類別面積	14
(5) 樹種別材積表	17
(6) 荒廃地等の面積	17
(7) 森林の被害	17

3 林業の動向

(1) 森林組合及び生産森林組合の現況	18
(2) 林業事業体等の現況	19
(3) 林業労働力の概況	20
(4) 林業機械化の概況	21

4 前期計画の実行状況

(1) 間伐立木材積その他の伐採立木材積	22
(2) 間伐面積	22
(3) 人工造林・天然更新別面積	22
(4) 林道の開設及び拡張の数量	22
(5) 保安林の整備及び治山事業に関する計画	23

5 林地の異動状況

(1) 森林より森林以外への異動	23
(2) 森林以外より森林への異動	23

6 森林資源の推移

(1) 分期別伐採立木材積等	24
(2) 分期別期首資源表	25

I 計画の大綱

1 森林計画区の概況

(1) 位置

北海道の東部に位置し、釧路総合振興局・根室振興局の全域を占めている。北部は網走東部森林計画区に、西部は十勝森林計画区に接しており、東は根室海峡、南は太平洋に面している。

(2) 自然的背景

ア 地勢

山地は、西部から北部にかけて、阿寒、知床連山が連なっており、代表的な山岳として雌阿寒岳（1,499m）、羅臼岳（1,660m）がある。

主な河川は、屈斜路湖、阿寒湖を水源とする釧路川、阿寒川が南流して太平洋に注ぎ、また、標津川、西別川、風蓮川が東流し、根室海峡に注いでいる。

イ 地質及び土壌

(ア) 地質 火山性岩石が広く分布するが、釧路湿原から根室半島にかけては沖積層、釧路西部では第三紀層、厚岸湾周辺では洪積層となっている。

(イ) 土壌 褐色森林土が最も多く、次いで黒色土、ポドゾル土、泥炭土となっている。

ウ 気候

千島海流の影響を受けて冷涼で、沿岸部では海洋性気候、内陸部では内陸性気候を示している。また、春から夏にかけては海霧に覆われることが多く、冬は厳しい寒気に見舞われ、根室海峡はオホーツク海域からの流氷にしばしば覆われる。

(3) 社会経済的背景

ア 市町村の構成

2市10町1村（国有林は全市町村に所在）

イ 人口

約294千人（令和2年国勢調査）

ウ 産業

(ア) 農業 恵まれた草地基盤を生かして大規模な酪農が展開されている。

(イ) 水産業 マイワシ・サンマ等の漁船漁業、秋サケ等を主体とする定置網網漁業、コンブ等の採介藻漁業、カキやウニ等の養殖漁業が盛んで、道内漁業の一大生産地域を形成している。

(ウ) 工業 水産加工品、乳製品等の食料品製造業が主体となっている。

(エ) 観光業 豊かで貴重な自然環境を有しており、世界自然遺産の知床半島地域や知床、阿寒摩周、釧路湿原の3つの国立公園、ラムサール条約登録湿地に野付半島・野付湾、風蓮湖・春国岱地域等が指定されている。

また、令和3年3月には厚岸霧多布昆布森国立公園が新たに指定され、道内外をはじめ海外からも数多くの観光客が訪れている。特に阿寒摩周国立公園は平成28年に「国立公園満喫プロジェクト」で先行的・集中的な取組を実施する国立公園として選定されている。

(4) 森林・林業・木材産業の概況

ア 森林・林業

(ア) 森林面積 計画区 561千ha (計画区土地面積の約59%)
国有林 286千ha (計画区森林面積の約51%)

(イ) 森林蓄積 計画区 82,268千m³
国有林 43,953千m³
(国有林のha当たり蓄積154m³(全道平均148m³))

(ウ) 人工林率 計画区 29%(全道平均27%)
国有林 29%

注) (ア)～(ウ)は令和元年度北海道林業統計による。

イ 林業事業体等の現況(令和2年度)

(ア) 造林業 33業者

(イ) 素材生産業 37業者

(ウ) 森林組合 9組合

注) (ア)～(ウ)は北海道調べによる。

2 前計画の実行結果の概要及びその評価

伐採立木材積については、主伐は予定箇所の一部が間伐に変更となった等から減少となった。また、間伐は、おおむね計画どおりの実行となった。

人工造林面積については、おおむね計画どおり実行された。天然更新面積については、未立木地の復旧のため天然更新補助作業を行った結果、計画量より増加した。

間伐面積については、現地精査した実行により間伐面積が減少した。

林道の開設又は拡張の数量については、利用区域内の実行状況の時期等を踏まえ、優先度の高いものから実行した結果、減少した。

保安林解除の面積については道路用地転用等に伴う所管換等により発生した。
 治山事業については、各箇所をの緊急度を勘案のうえ実行した結果、溪間工、山腹工はほぼ計画どおりの実行となり、植栽工、本数調整伐は減少した。

(1) 伐採立木材積

単位 材積：千 m^3

区分	伐 採 立 木 材 積								
	計 画			実 行			実行歩合		
	主伐	間伐	総数	主伐	間伐	総数	主伐	間伐	総数
総 数	372	950	1,322	224	795	1,019	60%	84%	77%
針葉樹	340	883	1,223	204	704	908	85%	80%	74%
広葉樹	32	67	99	21	91	112	64%	136%	113%

注1) 四捨五入の関係で、総数は必ずしも一致しない。(以下の表についても同じ。)

2) 計画及び実行数値は、前計画の前期分(H29~R3年度)である。

(2) 人工造林・天然更新別面積

単位 面積：ha

総 数			人工造林			天然更新		
計画	実行	実行歩合	計画	実行	実行歩合	計画	実行	実行歩合
2,781	2,681	96%	2,770	2,545	92%	11	136	1,292%

注) 計画及び実行の数値は、前計画の前期分(H29~R3年度)である。

(3) 間伐面積

単位 面積：ha

計 画	実 行	実行歩合
20,719	15,836	76%

注) 計画及び実行の数値は、前計画の前期分(H29~R3年度)である。

(4) 林道の開設又は拡張の数量

単位 距離：km

区 分	開設延長			拡張箇所数		
	計 画	実 行	実行歩合	計 画	実 行	実行歩合
総 数	32	22	69%	4	0	0%

注) 計画及び実行の数値は、前計画の前期分(H29~R3年度)である。

(5) 保安林の整備

単位 面積 : ha

種類	指 定			解 除		
	計 画	実 行	実行歩合	計 画	実 行	実行歩合
総 数	-	-	-	-	2.71	-
水 源 かん 養	-	-	-	-	0.12	-
土 砂 流 出 防 備	-	-	-	-	0.11	-
土 砂 崩 壊 防 備	-	-	-	-	2.14	-
防 風	-	-	-	-	0.33	-

注) 計画及び実行の数値は、前計画の前期分 (H29～R3 年度) である。

(6) 治山事業

主な工種	計 画	実 行	実行歩合
溪 間 工 (箇所)	10	12	120%
山 腹 工 (箇所)	7	7	100%
植 栽 工 (ha)	61	13	22%
本数調整伐 (ha)	30	20	67%

注) 計画及び実行の数値は、前計画の前期分 (H29～R3 年度) である。

3 計画樹立に当たっての基本的な考え方

森林の有する公益的機能の発揮に対する国民の期待は、国土の保全や水源の涵養、地球温暖化の防止のみならず、生物多様性の保全など、ますます多様で重層的なものとなってきている。

北海道の森林は、国民が期待する公益的機能発揮に対し、北海道の美しく雄大な景観の形成や、豊かな野生生物の生育・生息環境の確保など、大きな役割を果たしている。

とりわけ、北海道の土地総面積の約39%、森林面積の約55%を占める国有林の果たすべき役割は、大きなものとなっている。

特に生物多様性保全については、森林の整備に当たり、溪畔周辺の保全等による森林生態系のネットワークの形成や、樹種や林齢等の異なるさまざまなタイプの森林の分散的な配置など、森林の状態や変化に応じ、多種多様な生物相を安定的、長期的に支える視点が求められている。

北海道の国有林においては、このような森林の有する公益的機能をより一層発揮させるために、人工林の主伐箇所等において、『天然力を活用した多様な森林づくり』を推進するとともに、民有林と国有林が連携し、周辺民有林も含めた面的な機能発揮や、森林・林業の再生に向けた国有林野の資源、フィールド、人材等の積極的な活用を図っていく。

特に、本森林計画区では、以下のような森林づくり等について取り組んでいくものとする。

- (1) 本森林計画区の国有林は、地域の水源として、また、基幹産業である農業や水産業の振興及び環境保全に資する観点で重要な役割を担っており、土砂の流出・崩壊等の防止に資する健全な森林づくりが求められている。このため、河川流量を平準化し、渇水や洪水を緩和するとともに、土砂や濁水の流出を防止するなど、森林の有する水源涵養機能及び山地災害防止機能の持続的発揮に向けた森林の整備及び保全を推進する。
- (2) 知床の自然環境を人類共有の資産として、より良い形で後世に引き継いでいくため、世界自然遺産地域の陸域の9割以上を占める国有林においては「知床森林生態系保護地域」として原生的な森林生態系の適切な保護管理及び保護の必要性の普及啓発を一層推進するほか、知床の原生的な自然の価値を将来にわたって損なうことのないよう関係機関と連携・協力し、管理を推進する。
- (3) 森林の生物多様性の保全については、森林に対する社会的ニーズや立地条件、森林生態系の生産力や復元力に応じた適切な森林施業を組み合わせるなどにより、全体として森林生態系の種及び遺伝子の保管庫としての機能が最大限に発揮されることに留意しつつ、森林の整備及び保全を推進する。
国の天然記念物に指定されているクマゲラや国内希少野生動植物種に指定されているクマタカ等及びその両方に指定されているシマフクロウの生息環境に配慮した森林施業を推進し、生息環境の保全を図る
- (4) 本森林計画区内の特徴的な森林である格子状防風林については、防風林としての生活環境及び地域産業の生産基盤に対する保護・保全機能並びに観光資源としての景観を維持しつつ、立地条件や森林資源を有効に活用しながら、多様で健全な森林の整備及び保全を推進する。
- (5) 二酸化炭素排出量の削減の観点から、林地未利用材等の木質バイオマスの有効利用を促進する。
- (6) 森林吸収源対策を推進するとともに、森林の健全性を確保する観点から、若・壮齢級の人工林における間伐や、増加する高齢級の人工林における複層林施業等を積極的に推進するとともに、伐採後の着実な更新を図る。
- (7) 計画を効率的に実施し、地域の森林の一体的かつ総合的な整備及び保全を推進するため、民有林・国有林間で密接な連絡調整を図るとともに、森林整備推進協定の締結、森林共同施業団地の設定及び公益的機能維持増進協定等の取組を推進する。

Ⅱ 計画事項

第1 計画の対象とする森林の区域

市町村別面積

単位 面積：ha

区分	面積	備考
総数	286,043.63	
市町村別内訳	釧路市	40,786.25
	根室市	6,393.06
	釧路町	6,338.46
	厚岸町	15,200.40
	浜中町	1,020.79
	標茶町	24,380.29
	弟子屈町	42,426.94
	鶴居村	13,561.27
	白糠町	36,742.18
	別海町	6,260.68
	中標津町	25,484.40
	標津町	32,524.34
	羅臼町	34,924.57

- 注1) 計画の対象とする森林の区域は、森林計画図において表示する区域内の林野庁所管の国有林及び公有林野等官行造林地とする。
- 2) 森林計画図は、北海道森林管理局計画課、根釧西部森林管理署及び根釧東部森林管理署に備え置く。

第2 森林の整備及び保全に関する基本的な事項

1 森林の整備及び保全の目標その他森林の整備及び保全に関する基本的な事項

(1) 森林の整備及び保全の目標

森林の有する各機能を高度に発揮させる上で望ましい森林の姿は、次のとおりである。

ア 水源涵養機能

下層植生とともに樹木の根が発達することにより、水を蓄える隙間に富んだ浸透・保水能力の高い森林土壌を有する森林であって、必要に応じて浸透を促進する施設等が整備されている森林。

イ 山地災害防止機能／土壌保全機能

下層植生が生育するための空間が確保され、適度な光が射し込み、下層植生とともに樹木の根が深く広く発達し土壌を保持する能力に優れた森林であって、必要に応じて山地災害を防ぐ施設が整備されている森林。

ウ 快適環境形成機能

樹高が高く枝葉が多く茂っているなど遮蔽能力や汚染物質の吸着能力が高く、諸被害に対する抵抗性が高い森林。

エ 保健・レクリエーション機能

身近な自然や自然とのふれあいの場として適切に管理され、多様な樹種等からなり、住民等に憩いと学びの場を提供している森林であって、必要に応じて保健・教育活動に適した施設が整備されている森林。

オ 文化機能

史跡、名勝等と一体となって潤いのある自然景観や歴史的風致を構成している森林であって、必要に応じて文化活動に適した施設が整備されているなど、精神的・文化的・知的向上等を促す場としての森林。

カ 生物多様性保全機能

原生的な森林生態系、希少な生物が生育・生息する森林、陸域・水域にまたがり特有の生物が生育・生息する溪畔林等、その土地固有の生物群集を構成する森林。

キ 木材等生産機能

林木の生育に適した土壌を有し、木材として利用する上で良好な樹木により構成され成長量が高い森林であって、林道等の基盤施設が適切に整備されている森林。

(2) 森林の整備及び保全の基本方針

森林の整備及び保全に当たっては、森林の有する多面的機能を高度に発揮させるため、生物多様性の保全及び地球温暖化の防止に果たす役割並びに近年の地球温暖化に伴い懸念される集中豪雨の増加等の自然環境の変化や急速な少子高齢化と人口減少等の社会的情勢の変化も考慮しつつ、重視すべき機能に応じた適正な森林施業の面的な実施や森林の保全の確保により健全な森林資源の維持造成を推進するとともに、その状況を適確に把握するための森林資源のモニタリングの適切な実施やリモートセンシング及び森林GISの効果的な活用を図ることとする。

具体的には、森林の有する各機能の充実と機能間の調整を図り、森林の構成、森林の有する機能、林道の整備状況、社会的要請等を総合的に勘案のうえ、育成単層林については、適切な保育、間伐等の実施、適確な更新を確保していく。また、伐採年齢の長期化を図りつつ、天然力を活用して様々な樹種、林齢からなる育成複層林へと誘導・維持する施業を積極的に推進する。育成複層林については、人為による育成と天然力を適切に組み合わせた複数の樹冠層を構成する多様性に富む森林への計画的な整備を推進し、天然生林については適確な管理・保全等を行い、原生的な森林の保存に努め、山地災害等の防止対策や病虫害及び野生鳥獣等による森林被害等

の防止対策の推進等により、重視すべき機能に応じた多様な森林資源の整備及び保全を図ることとする。

また、森林の管理経営に欠くことのできない施設である林道等の整備に当たっては、周囲の環境との調和を図ることに加え、コストの縮減に努め、森林資源の整備の目標及び公道、民有林林道等の配置状況等を考慮し、農山村地域の振興にも資する整備に努めるとともに、既設の林道等については、利用状況、今後の森林施業の展開等を考慮しながら、改良及び適切な維持管理を図ることとする。

さらに、森林の水源涵養機能、山地災害防止機能等の諸機能の高度発揮を図るため、治山事業の計画的な実施に努めるとともに、保安林の適正な整備や保安林制度の適切な運用を図ることとする。その中で、流域保全の観点から、関係機関が連携した取組等を通じて、山地災害の減災に向けた事業の実施を図る。その際、環境との調和を図ることに加え、コストの縮減に努める。

森林が多種多様な生物の生育・生息地であることや、森林に対しての多様なニーズがあることに十分配慮するとともに、森林は、二酸化炭素の吸収源・貯蔵庫として重要な役割を果たしていることから、間伐等の森林整備の着実な実施や保安林等の適切な管理・保全等により、吸収源・貯蔵庫としての機能を十分に発揮できるよう努めるものとする。

森林の有する各機能を踏まえ、それぞれの機能の維持増進を図るための森林の整備及び保全の基本方針は次のとおりとする。

ア 水源涵養機能

ダム集水区域や主要な河川の上流に位置する水源地周辺の森林、地域の用水源として重要なため池、湧水地、溪流等の周辺に存する森林は、水源涵養機能の維持増進を図る森林として整備及び保全を推進することとする。

具体的には、良質な水の安定供給を確保する観点から、適切な保育・間伐を促進しつつ、下層植生や樹木の根を発達させる施業を基本とするとともに、伐採に伴って発生する裸地については縮小並びに分散を図ることとする。また、自然条件や国民のニーズ等に応じ、奥地水源林等の人工林における針広混交の育成複層林化など天然力も活用した施業を推進することとする。

ダム等の利水施設上流部等において、水源涵養の機能が十全に発揮されるよう、保安林の指定やその適切な管理を推進することを基本とする。

イ 山地災害防止機能／土壌保全機能

山地災害の発生により、人命・人家等施設への被害のおそれがある森林であって、土砂の流出、土砂の崩壊の防備、その他山地災害の防備のための森林は、山地災害防止機能／土壌保全機能の維持増進を図る森林として整備及び保全を推進することとする。

具体的には、災害に強い国土を形成する観点から、地形、地質等の条件を考慮した上で、林床の裸地化の縮小並びに回避を図る施業を推進することとする。また、自然条件や国民のニーズ等に応じ、天然力も活用した施業を推進す

ることとする。

集落等に近接する山地災害の発生の危険性が高い地域等において、土砂の流出防備等の機能が十全に発揮されるよう保安林の指定やその適切な管理を推進するとともに、溪岸の侵食防止や山脚の固定等を図る必要がある場合には、谷止や土留等の施設の設置を推進することを基本とする。

ウ 快適環境形成機能

国民の日常生活に密接な関わりを持つ里山等であって、騒音や粉塵等の影響を緩和する森林、森林の所在する位置、気象条件等からみて風害、霧害等の気象災害を防止する効果が高い森林は、快適環境形成機能の維持増進を図る森林として整備及び保全を推進することとする。

具体的には、地域の快適な生活環境を保全する観点から、風や騒音等の防備や大気の浄化のために有効な森林の構成の維持を基本とし、樹種の多様性を増進する施業や適切な保育・間伐等を推進することとする。

また、快適な環境の保全のための保安林の指定やその適切な管理、防風、防潮等に重要な役割を果たしている海岸林等の保全を推進することとする。

エ 保健・レクリエーション機能

観光的に魅力ある高原、溪谷等の自然景観や植物群落を有する森林、キャンプ場や森林公園等の施設を伴う森林など、国民の保健・教育的利用等に適した森林は、保健・レクリエーション機能の維持増進を図る森林として整備及び保全を推進することとする。

具体的には、国民に憩いと学びの場を提供する観点から、立地条件や国民のニーズ等に応じ広葉樹の導入を図るなどの多様な森林整備を推進することとする。

また、保健等のための保安林の指定やその適切な管理を推進することとする。

オ 文化機能

史跡、名勝等の所在する森林や、これらと一体となり優れた自然景観等を形成する森林は、潤いある自然景観や歴史的風致を構成する観点から、文化機能の維持増進を図る森林として整備及び保全を推進することとする。具体的には、美的景観の維持・形成に配慮した森林整備を推進することとする。

また、風致の保存等のための保安林の指定やその適切な管理を推進することとする。

カ 生物多様性保全機能

全ての森林は多様な生物の生育・生息の場として生物多様性の保全に寄与している。このことを踏まえ、森林生態系の不確実性を踏まえた順応的管理の考え方に基づき、時間軸を通して適度な攪乱により常に変化しながらも、一定の広がりにおいてその土地固有の自然条件等に適した様々な生育段階や樹種から構成される森林がバランス良く配置されていることを目指すものとする。

とりわけ、原生的な森林生態系、希少な生物が生育・生息する森林、陸域・水域にまたがり特有の生物が生育・生息する溪畔林などの属地的に機能の発揮が求められる森林については、生物多様性保全機能の維持増進を図る森林として保全することとする。また、野生生物のための回廊の確保にも配慮した適切な保全を推進することとする。

キ 木材等生産機能

林木の生育に適した森林で、効率的な森林施業が可能な森林は、木材等生産機能の維持増進を図る森林として整備を推進することとする。

具体的には、木材等の林産物を持続的、安定的かつ効率的に供給する観点から、森林の健全性を確保し、木材需要に応じた樹種、径級の林木を生育させるための適切な造林、保育及び間伐等を推進することを基本として、将来にわたり育成単層林として維持する森林では、主伐後の植栽による確実な更新を行う。この場合、施業の集団化や機械化を通じた効率的な整備を推進することを基本とする。

(3) 計画期間において到達し、かつ、保持すべき森林資源の状態等

単位 面積 : ha

区 分		現 況	計画期末
面積	育成単層林	69,889	63,392
	育成複層林	33,750	40,266
	天然生林	153,381	153,363
森林蓄積 (m ³ /ha)		179	187

注) 育成単層林 : 森林を構成する林木を皆伐により伐採し、単一の樹冠層を構成する森林として人為により成立させ維持される森林。

育成複層林 : 森林を構成する林木を帯状若しくは群状又は単木で伐採し、一定の範囲又は同一空間において複数の樹冠層を構成する森林として人為により成立させ維持される森林。

天然生林 : 主として天然力を活用することにより成立させ維持される森林。

2 その他必要な事項

(1) 水源涵養機能の持続的発揮に向けた森林整備

河川の上流域に位置する国有林は、地域の水源として、また、基幹産業である農業及び水産業の振興等に資する観点から、特に水源涵養機能及び山地災害防止機能の発揮への期待が高い。このため、将来の森林の姿を見据えた面的な広がりでの森林を取り扱うことに留意して、①育成単層林として維持していく林分については、伐採に伴う裸地化による影響を軽減するため、自然条件に応じて皆伐面積の縮小・分散や、間伐の繰り返しによる伐期の長期化、植栽による確実な更新を図り、②将来、育成複層林に誘導していく林分については、複層林、針広混交林等への誘導に向けた下層の光環境の確保、下層植生等の導入・育成に配慮した施業等を行っていくものとし、流域全体で水源涵養機能が持続的に発揮されることを目指すものとする。

特に、それぞれの施業目的に応じた間伐を重点的に行い、地球温暖化防止にも

貢献していくとともに、路網を基幹として施業の集約化等を推進し、森林資源の有効利用を進めていくものとする。また、地域との連携・協働による水源林整備も積極的に進める。

なお、取水施設の上流等の特定水源に近接する箇所については、特に留意し、水源に影響を及ぼすおそれがある場合は施業を見合わせるとともに、溪流沿いについては、溪流への土砂の流出・崩壊を抑えるため、おおむね50m以上（水辺からおおむね片側25m以上）の保護樹帯を設置する。

（2）パイロットフォレストの取扱い

山火事等により広大な原野であった別寒辺牛川中流域を計画的に造成した約1万haの森林「パイロットフォレスト」において約6千haを占めるカラマツ人工林については、水源涵養機能等の公益的機能を維持しつつ、カラマツ資源の保続と木材の安定的供給に資する観点から、伐期の長期化を図り、1箇所当たりの伐採面積を小規模・分散化させる施業を進めていくとともに、主伐箇所についてはカラマツの植栽と併せて天然の広葉樹を活かした多様な樹種、林齢からなる森林へ誘導し、林齢の平準化を推進する。

また、パイロットフォレスト内には、別寒辺牛湿原と湿原に流れ込む小河川が存在しており、水質の保全や野生生物の生息環境の保全に留意する必要があるため、湿地の周囲及び常時水流のある溪流端から両側おおむね30mの区域について、天然林は原則として人為を加えることなく自然の推移に委ね、人工林は必要に応じて単木伐採による施業を行い、広葉樹等の導入・育成を促し、将来的には天然林への移行を図るものとする。

（3）クマゲラ、クマタカ・オオタカ及びシマフクロウ等生息森林の取扱い

ア クマゲラ

北海道においては、その全域にわたり天然記念物に指定されているクマゲラが生息しているが、こうした大型のキツツキ類は、営巣や採餌のために樹木に開けた穴を多くの樹洞性動物が利用するなど、生態系のキーストーン種であることから、営巣木の保護区域等を設定するなど、その生息環境の保全に努める。

イ クマタカ・オオタカ

猛禽類の多くは、陸上生態系において食物連鎖の頂点に位置する肉食動物として注目されている。このうちクマタカは我が国の森林生態系を代表する猛禽類であるが、将来における種の存続が危惧される状況になっていること、また、オオタカは平成29年9月に「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」に基づく「国内希少野生動植物種」の指定が解除になったものの、比較的低山帯、平地林にも多く生息し、森林施業と密接に関わっていることから、引き続き、その生息環境の保全に努める。

ウ シマフクロウ

フクロウ科シマフクロウ属に分類される鳥類で、巨木の樹洞に営巣する。夜行性で、魚やザリガニ、小型の哺乳類などを捕らえる。「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」で国内希少野生動植物種に指定されていることから、生息を保護する区域の設定等の取組により、繁殖活動の保護及び生息に適する森林の保全に努める。

エ その他

このほかの希少野生生物（「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」に基づき定められている国内希少野生動植物種や環境省及び北海道のレッドデータブックに掲載されている種など）についても、その生育・生息の把握に努め、確認された場合や情報がある場合には、学識経験者から助言を得るなど、その保護に配慮した施業に努めるものとする。

（４）知床世界自然遺産地域の保全管理の推進

国有林は知床世界自然遺産地域の陸域の９割以上を占めており、国有林の森林保護制度である「森林生態系保護地域」の設定や森林法に基づく各種保安林の指定等により、原始的な森林環境の維持・保全に向けて、適切な保全管理を引き続き行っていくこととする。

第３ 森林の整備に関する事項

１ 森林の立木竹の伐採に関する事項（間伐に関する事項を除く。）

森林施業を実施するに当たっては、第２の１「森林の整備及び保全の目標その他森林の整備及び保全に関する基本的な事項」によるほか、次に掲げる基準によるものとする。

なお、保安林及び保安施設地区内の森林並びに法令により立木の伐採につき制限がある森林（森林法施行規則（昭和２６年農林省令第５４号）第１０条に規定する森林をいう。）については、保全対象又は受益対象を同じくする森林ごとに制限の目的の達成に必要な施業を行うこととする。また、森林の生物多様性の保全の観点から、施業の実施に当たっては、野生生物の営巣、餌場、隠れ場として重要な空洞木や枯損木、目的樹種以外の樹種であっても目的樹種の成長を妨げないものについては、保残に努めることとする。

（１）立木の伐採（主伐）の標準的な方法

立木の伐採のうち主伐については、更新を伴う伐採により行うものとする。

主伐に当たっては、森林の有する公益的機能の発揮と森林生産力の維持増進に配慮して行うこととし、伐採跡地が連続することがないように、伐採跡地間には、少なくとも周辺森林の成木の樹高程度の幅を確保することとする。

また、伐採作業に伴う林業機械の走行等に必要な集材路の作設等に当たっては、伐採する区域の地形や地質等を十分に確認した上で配置の計画や施工等を行い、

森林の更新及び森林の土地の保全への影響を極力抑える。

伐採の対象とする立木については、標準伐期齢以上を目安として選定することとする。

また、伐採後の適確な更新を確保するため、あらかじめ適切な更新の方法を定め、その方法を勘案して伐採を行うこととする。特に、伐採後に天然更新を活用する場合には、天然稚樹の生育状況、母樹の保存、種子の結実等に配慮することとする。なお、自然条件が劣悪なため、更新を確保するため伐採の方法を特定する必要がある森林における伐採の方法については、択伐等適確な更新に配慮したものとする。さらに、林地の保全、雪崩及び落石等の防止、寒風害等の各種被害の防止、風致の維持並びに溪流周辺及び尾根筋等の森林における生物多様性の保全等のため必要がある場合には、所要の保護樹帯を設置することとする。

(具体的な取扱いは「主伐時における伐採・搬出指針」(令和3年3月16日付け2林整整第1157号林野庁長官通知)による。)

ア 皆伐

皆伐は、主伐のうち択伐以外のものとし、皆伐に当たっては、気候、地形、土壌等の自然的条件及び公益的機能の確保の必要性を踏まえ、適切な伐採区域の形状、一箇所当たりの伐採面積の規模及び伐採区域のモザイク的配置に配慮し、適確な更新を図ることとする。

イ 択伐

択伐については、主伐のうち、伐採区域の森林を構成する立木の一部を伐採する方法であって、単木・帯状又は樹群を単位として、伐採区域全体ではおおむね均等な割合で行うものとする。

択伐に当たっては、森林の有する多面的機能の維持増進が図られる適正な林分構造となるよう、一定の立木材積を維持するものとし、適切な伐採率によることとする。

(2) 立木の標準伐期齢

主要な樹種の標準伐期齢は、流域の標準的な立地条件にある森林における平均成長量が最大となる年齢を基準とし、森林の有する公益的機能、既往の平均伐採期齢及び森林の構成を勘案して、次のとおり定める。

なお、標準伐期齢は、流域を通じた立木の伐採(主伐)の時期に関する指標として定めるものであり、保安林等の伐採規制等に用いられるものである。

人天別	樹種	標準伐期齢
人工林	エゾマツ、アカエゾマツ	60
	トドマツ	50
	カラマツ、グイマツ	30
	その他針葉樹	40
	カンバ、ドロノキ、ハンノキ(天然林を含む)	30
	その他広葉樹	40
天然林	主として天然下種によって生立する針葉樹	60
	〃 広葉樹	80
	主としてぼう芽によって生立する広葉樹	25

(3) その他必要な事項

ア 水源涵養機能等の高度発揮と資源の循環利用を進める観点から、育成複層林へ導くための施業を積極的に推進することとし、人工林における針葉樹と広葉樹が混交した保護樹帯の整備やモザイク状の森林への誘導のために行う抜き伐り及び小面積区域伐採、高齢級の常時複層林へ誘導するための上層木の抜き伐りを実施する。

イ 伐採箇所の選定に当たっては、当該森林の林分状況、自然保護に対する要請、地域の産業及び地域住民の生活への影響等に配慮し行うものとする。

ウ 伐採、素材の集積場等に当たっては、枝条、素材等が流出し、下流の人家・公共施設、農地等に被害を及ぼすことのないよう、木材の流出防止等必要な措置を講ずるとともに、土砂の流出が生じないよう十分配慮する。

エ クマゲラ、クマタカ・オオタカ及びシマフクロウ等生息森林の取扱い

(ア) クマゲラ

営巣木が確認された場合は、営巣木を中心に、おおむね半径50m以内を「営巣木保護区域」、おおむね半径500m以内を「緩衝区域」として設定する。

営巣木保護区域においては、営巣木の伐採は行わない。

営巣木周辺では弱度の択伐、間伐以外の伐採は行わないとともに、産卵・抱卵・育雛期間（4～6月頃）は立ち入りを控え、騒音の発生を防止する。

緩衝区域においては、伐採は択伐及び間伐を原則とし、機能区分に基づき皆伐が必要な場合は面積5ha以下として、更新後の平均樹高が10mに達するまでは隣接した伐採区域は設定しない。

(具体的な取扱いは、「クマゲラ生息森林の取扱い方針」（平成18年6月29日付け18北計第27号）による。)

(イ) クマタカ・オオタカ

営巣木が確認された場合は、クマタカについては営巣木から半径500m

程度、オオタカについては半径250m程度の「営巣中心域」を設定する。また、クマタカ・オオタカともに、営巣木から半径2km程度の「高利用域」を設定する。

営巣木から半径50m程度は、原則として伐採は行わない。

営巣中心域では、営巣の確認のため以外は入林せず、間伐等の実施は非営巣期（クマタカ：9～1月、オオタカ：8～2月）に行い、皆伐が必要な場合は1ha以下として、更新後の平均樹高が10mに達するまでは隣接した伐採区域は設定しない。

採餌場の確保に配慮するため、高利用域内の人工林において皆伐を行う場合には、面積を5ha以下にするとともに、分散配置に努める。

（具体的な取扱いは、「クマタカ・オオタカ生息森林の取扱い方針について」（平成19年3月28日付け18北計第147号）による。）

（ウ）シマフクロウ

繁殖活動が旺盛なつがいが確実に営巣している区域並びに行動が確認された区域を「シマフクロウの生息を保護する区域」として設定し、特に営巣木と繁殖期の主要な採餌場所を含む周辺一帯の区域を「営巣木保護区域」とする。

「シマフクロウの生息を保護する区域」においては、営巣木及び大径樹洞木（営巣候補木）の保残に努めるとともに、繁殖期間（1～6月）内は、原則として施業を実施しない。

また、繁殖期間以外の期間に行う施業において、人工林については、シマフクロウの生息環境の保全に資するため、間伐を適切に実施し林分の健全化に努めるとともに、必要に応じ移動空間確保のための密度調整を行う。天然林については、営巣木保護区域内において、風害等による被害木の伐採等の森林の維持管理のために行う伐採を除き、原則伐採は行わない。

なお、施業の実施に当たっては、シマフクロウの餌となる魚類、両生類等の生息環境に影響を及ぼさないよう努める。

（具体的な取扱いは、「シマフクロウ生息森林の取扱い方針について」（令和2年3月25日付け元北計第110号）による。）

（エ）その他

このほかの希少野生生物（「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」に基づき指定された国内希少野生動植物種や環境省及び北海道のレッドデータブックに掲載された種など）についても、その生育・生息の把握に努め、確認された場合や情報がある場合には、学識経験者から助言を得るなど、その保護に配慮した施業に努めるものとする。

2 造林に関する事項

造林については、裸地状態を早期に解消して公益的機能の維持を図るため、更新す

べき期間内に造林を行うものとし、その方法については、気候、地形、土壌等の自然条件に応じて、人工造林又は天然更新によるものとする。特に、伐採後に適確な更新が図られていない伐採跡地については、それぞれの森林の状況に応じた方法により早急な更新を図ることとする。なお、植栽によらなければ適確な更新が困難な森林における造林の方法は、人工造林によることとする。

(1) 人工造林に関する事項

人工造林については、植栽によらなければ適確な更新が困難な森林や公益的機能の発揮の必要性から植栽を行うことが適当である森林において行う。

ア 人工造林の対象樹種

適地適木を基本として、郷土樹種も考慮に入れて、気象、地形、土壌等の自然条件、既往の成林状況及び地域における造林樹種の需給動向等を勘案し選定するものとする。

また、育成複層林施業を行う林分については、自然条件等に加え、上木の生育状況も勘案して樹種を選定する。

イ 人工造林の標準的な方法

(ア) 人工造林の植栽本数

主要な樹種の植栽本数は、既往の施業体系及び植栽本数を勘案して次表を目安とするが、多様な森林への誘導及び造林コストの低減等の観点から、造林対象地の天然稚幼樹の発生状況及び有用天然木の配置状況等を勘案しつつ、法令等の制限を遵守する中で、可能な限り低密度とする。

樹 種	基準本数(本数/ha)
トドマツ	3, 000
アカエゾマツ、エゾマツ	3, 000
カラマツ、グイマツ	2, 500
広葉樹	4, 000
クロマツ(海岸林)	10, 000
その他針葉樹	3, 000

注) 複層林施業については、上記の本数を目安としつつ、上木の樹冠を避けた範囲を植栽区域とする。

(イ) その他人工造林の標準的な方法

人工造林は、気象及び気象害の発生状況その他の自然条件及び既往の造林地の成績等を勘案するものとする。また、天然力を積極的に活用するとともに、コンテナ苗の活用や伐採と造林の一貫作業システムの導入も推進しつつ、現地の実態に即して、早期かつ確実な成林が期待できるよう行う。

地拵の方法は、植栽樹種、植栽方法、下層植生、保残した有用天然木の配

置状況や大型機械の有効活用も検討のうえ、現地に適合した方法を採用するものとする。

植栽時期は、極力乾燥期を避けるなど現地の状況を考慮して行う。また、健全な苗木の使用、植付方法により、活着率の向上と十分な成長が図られるよう行う。

諸種の原因により枯損が発生し、将来の成林に支障がある場合は、その枯損原因を究明の上、速やかに補植を行う。

なお、人工下種は、自然条件等により天然更新が期待できない箇所、人工下種により広葉樹資源の造成が可能な場合に行う。

ウ 伐採跡地の人工造林をすべき期間

伐採跡地については、林地の荒廃を防止し、裸地状態を早急に解消するため、人工造林によるものについては、原則として2年以内に更新を図る。

(2) 天然更新に関する事項

天然更新については、気候、地形、土壌等の自然条件、林業技術体系等からみて、主として天然力の活用により適確な更新が図られる森林において行う。

ア 天然更新の対象樹種

適地適木を基本とし、自然条件、森林を構成する樹種及び下層植生の状況等からみて、植込み、地表処理等の更新補助作業を行うことにより確実な更新が期待できる樹種とする。

なお、対象地内の有用天然木は積極的に育成する。

イ 天然更新の標準的な方法

天然更新の方法の選択に当たっては、後継樹の本数及び配置状況等現地の実態に即して行うが、確実な更新が図られるようこれらを適宜組み合わせることも考慮する。

(ア) 刈出し

ササなどの下層植生により天然稚幼樹の生育が阻害されている箇所について、更新を確保するため刈払い等を実施する。

(イ) 地表処理

ササや粗腐植の堆積等により天然下種更新が阻害されている箇所について、大型機械によるかき起こし等を実施する。

なお、地表処理によるものについては、処理を実施した年の翌年から5年以内に更新状況の確認を行い、更新が完了していないと判断される場合には、再度天然更新補助作業を行うなど確実に更新を図る。

(ウ) 植込み及びまき付け等

天然稚幼樹の生育状況や天然下種更新の可能性を考慮し、必要な場合は、植え込み、まき付けを行う。なお、広葉樹の更新が期待できる箇所は、ミズナラ等のまき付けを行う。

また、ぼう芽力の強い樹種によるぼう芽更新なども考慮する。

(3) その他必要な事項

防災的見地からの施業

林地崩壊のおそれがある地域や急傾斜地等で地拵を行う場合は、刈払いの方向や枝条等の置き場に十分留意するものとする。

3 間伐及び保育に関する事項

(1) 間伐の標準的な方法

間伐については、林冠がうっ閉（隣り合わせた樹木の葉が互いに接して葉の層が林地を覆ったようになること）し、立木間の競争が生じ始めた森林において、主に目的樹種の一部を伐採する方法により、伐採後、一定の期間内に林冠がうっ閉するよう、行うものとする。

実施に当たっては、森林資源の質的向上を図るとともに、適度な下層植生を有する適正な林分構造が維持されるよう、適切な伐採率により繰り返し行うこととする。

特に、高齢級の森林における間伐に当たっては、立木の成長力に留意することとする。

なお、森林の状況に応じて、施業の省力化・効率化を図るものとする。

主要な樹種の間伐の時期、間伐方法、間伐率の目安は次のとおりとする。

樹種	間伐の時期（林齢）			間伐方法	間伐率
	初回	2回	3回		
トドマツ	7 齢級 (31～35年)	9 齢級 (41～45年)	1 1 齢級 (51～55年)	初回、2回目は原則列状間伐とし、3回目以降は単木・列状のいずれか（併用も含む）を選択。	35%を上限とする。
アカエゾマツ、エゾマツ	8 齢級 (36～40年)	1 1 齢級 (51～55年)	1 4 齢級 (66～70年)		
カラマツ、グイマツ	4 齢級 (16～20年)	6 齢級 (26～30年)	8 齢級 (36～40年)		
その他針葉樹	6 齢級 (26～30年)	8 齢級 (36～40年)	1 0 齢級 (46～50年)		
広葉樹	6 齢級 (26～30年)	9 齢級 (41～45年)	—		

注) 低密度植栽を行った場合や気象害などにより林分の閉鎖時期が遅れた場合には、間伐の時期を遅らせる等、柔軟な判断を行うこととする。

(2) 保育の標準的な方法

ア 保育の種類

下刈、つる切、除伐及び鳥獣害防止対策等とし、目的樹種と周辺植生相互の生育状況に応じ、林分の健全性の維持と質的向上のために行う。

実行に当たっては、目的樹種の生育状況等現地の実態に即した効果的な時期、回数、方法等を十分検討のうえ行う。

なお、目的樹種には、植栽木のみならず、その生育状況や将来の利用価値を勘案し、公益的機能の発揮及び利用上有用な天然更新木も含めるものとする。

イ 主要な樹種の保育の時期等の目安は、次のとおりとする。

作業種別	樹種	保育作業の年次別計画																
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
下刈	カラマツ	○	◎	○	○													
	トドマツ																	
	エゾマツ	○	◎	◎	○	○	○											
	アカエゾマツ																	
つる切・除伐	カラマツ						←○	→			○	→						
	トドマツ																	
	エゾマツ									←○	→			○	→			
	アカエゾマツ																	

注1) 春植を基準としているので、秋植は植付年度の翌年を1年目と読み替える。

2) 下刈の○は1回刈、◎は2回刈を示す。2回刈については必要性を勘案のうえ画一的な実施を避けること。トドマツ等の下刈で、7年目については必要な箇所に応用する。

3) つる切、除伐の←○→は標準年次と範囲を示している。

4) 地拵でササの根茎を除去した場合等においては、下刈回数の削減を行う。

ウ 保育の作業方法

(ア) 下刈

下刈については、目的樹種の成長を阻害する草本植物等を除去し、目的樹種の健全な育成を図るために行うものとする。

下刈の終了時点の目安は、樹種、植生の種類により異なるが、大部分の植栽木が植生高を脱し、又は同程度となり、生育に支障がなくなった時期とする。

(イ) つる切

つる性植物の繁茂の状況により、目的樹種の成長を阻害するおそれがある場合、必要に応じて実施することとし、かん木の発生状況等を勘案し、除伐が必要な箇所については、原則として除伐と併行させ効率的に行うこととする。

(ウ) 除伐

除伐については、下刈の終了後、林冠がうっ閉する前の森林において、目的

樹種の成長を阻害する樹木等を除去し、目的樹種の健全な成長を図るため、森林の状況に応じて適時適切に行うこととする。

なお、つる性植物の繁茂状況を勘案し、極力つる切と併行させ効率的に実施する。

(エ) 除伐Ⅱ類

目的樹種の本数密度が現に過密となっている林分、又は第1回目までの間伐までに調整を行わないと過密となることが予想される林分を対象に、目的樹種間の競争緩和を目的に実施する。

伐採木は、成長不良木、形質不良木等を対象とする。

(オ) 鳥獣害防止対策

鳥獣害防止対策については、野生鳥獣による樹木等への被害が見込まれる森林において、目的樹種の成長を阻害する野生鳥獣を防除するため、施業と一体的な対策を行う。

(3) その他必要な事項

ア 森林の有する公益的機能を高度に発揮させつつ資源の有効活用を進める観点から、人工林における高齢級間伐や利用面をも重視した間伐、人工林等における複層状態の林分の上層木の間伐等を積極的に推進する。このため、できる限り簡易で壊れにくい森林作業道等による路網整備を進めるとともに、ハーベスタ等高性能林業機械を組み合わせた低コスト・高効率作業システムによる間伐の普及を推進する。

イ 森林吸収源対策を推進するとともに、森林の健全性を確保する観点から、人工林における間伐等を推進する。

ウ 林地崩壊のおそれがある地域や急傾斜地等については、間伐及び保育の実施により下層植生の繁茂や樹根の生育を促し表土の安定を図るとともに、伐倒木等が河川に流出しないよう配慮する。

4 公益的機能別施業森林等の整備に関する事項

(1) 公益的機能別施業森林の区域及び当該区域内における施業の方法

公益的機能別施業森林の区域及び当該区域内における施業方法については別表1のとおり定める。

ア 公益的機能別施業森林の区域

(ア) 水源の涵養の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林の区域

水源涵養機能の高度発揮が求められている森林について、森林の位置及び構成、当該区域にかかる地域の要請等を勘案しつつ、管理経営の一体性の確保の観点から、その配置についてできるだけまとまりをもたせて定めることとする。ただし、狭小な区域を定めることに特別な意義を有する治山事業施工地等についてはこの限りではない。

(イ) 土地に関する災害の防止及び土壌の保全の機能、快適な環境の形成の機能又は保健文化機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林の区域

① 土地に関する災害の防止及び土壌の保全の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林の区域

山地災害防止機能・土壌保全機能の高度発揮が求められている森林について、森林の位置及び構成、当該区域にかかる地域の要請等を勘案しつつ、管理経営の一体性の確保の観点から、その配置についてできるだけまとまりを持たせて定めることとする。ただし、狭小な区域を定めることに特別な意義を有する治山事業施工地等についてはこの限りではない。

② 快適な環境の形成の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林の区域

生活環境保全機能の高度発揮が求められている森林について、森林の位置及び構成、地域住民の意向等を勘案しつつ、管理経営の一体性の確保の観点から、その配置についてできるだけまとまりをもたせて定めることとする。

③ 保健文化機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林の区域

保健・レクリエーション機能又は文化機能の高度発揮が求められている森林について、森林の位置及び構成、地域住民の意向等を勘案しつつ、管理経営の一体性の確保の観点から、その配置についてできるだけまとまりをもたせて定めることとする。ただし、狭小な区域を単位として定めることに特別な意義を有する保護林、レクリエーションの森等についてはこの限りではない。

イ 公益的機能別施業森林区域内における施業の方法

(ア) 水源の涵養の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林の区域

当該区域内においては、伐期の延長とともに伐採面積の縮小・分散を図ることを基本とし、下層植生の維持（育成複層林にあつては、下層木の適確な生育）を図りつつ、根系の発達を確保するとともに、対象森林における自然条件及び社会的条件に応じて長伐期施業、択伐による複層林施業、択伐以外の方法による複層林施業を推進する。

(イ) 土地に関する災害の防止及び土壌の保全の機能、快適な環境の形成の機能又は保健文化機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林の区域
当該区域内においては、それぞれの区域の機能に応じ、森林の構成を維持し、樹種の多様性を増進することを基本として、長伐期施業、択伐による複層林施業、択伐以外の方法による複層林施業など、良好な自然環境の保全や快適な利用のための景観の維持・形成を目的とした施業を推進する。

(2) その他必要な事項

すべての森林は多様な生物の生育・生息の場として生物多様性の保全に寄与していることから、公益的機能別施業森林の区域の別を問わず、その土地固有の自然条件等に適した様々な生育段階や樹種から構成される森林がバランス良く配置されていることを目指すものとする。

とりわけ、原始的な森林生態系、希少な生物が生育・生息する森林等については、その生態系の維持保存に特に配慮した適切な施業に努める。

5 林道等の開設その他林産物の搬出に関する事項

(1) 林道等の開設及び改良に関する基本的な考え方

林道等路網の開設については、傾斜等の自然条件、事業量のまとまり等地域の特性に応じて、環境負荷の低減に配慮し、木材の搬出を伴う間伐の実施や多様な森林への誘導等に必要森林施業を効果的かつ効率的に実施するため、一般車両の走行を想定する「林道」、主として森林施業用の車両の走行を想定する「林業専用道」、集材や造材等の作業を行う林業機械の走行を想定する「森林作業道」からなる路網と高性能林業機械を組み合わせた低コストで効率的な作業システムに対応したものとし、林道、林業専用道及び森林作業道を適切に組み合わせ開設することとする。

また、林道等の開設に当たっては、森林の利用形態や地形・地質等に応じ林業専用道を導入するなど、丈夫で簡易な規格・構造を柔軟に選択するとともに、自然条件や社会的条件が良く、将来にわたり育成単層林として維持する森林を主体に整備を加速化させるなど、森林施業の優先順位に応じた整備を推進することとする。

さらに、森林共同施業団地においては民有林林道等との連結など、効率的な路網の整備に配慮することとする。

○ 基幹路網の現状

単位 延長：km

区分	路線数	延長
基幹路網	335	1,637
うち林業専用道	38	61

注) 「基幹路網」は林道及び林業専用道が該当する。

(2) 効率的な森林施業を推進するための路網密度の水準及び作業システムの基本的な考え方

高性能林業機械を含む機械作業システムの導入を促進するとともに、効率的な森林施業に資するため、林道、林業専用道及び森林作業道が有機的に連結するよう下表に示す路網密度を基準に路網を整備する。

○効率的な森林施業を推進するための路網密度の水準

単位：m/ha

区分	作業システム	路網密度	基幹路網
緩傾斜地(0°~15°)	車両系作業システム	110以上	35以上
中傾斜地(15°~30°)	車両系作業システム	85以上	25以上
	架線系作業システム	25以上	25以上
急傾斜地(30°~35°)	車両系作業システム	60<50>以上	15以上
	架線系作業システム	20<15>以上	15以上
急峻地(35°~)	架線系作業システム	5以上	5以上

注) <>書きは、広葉樹の導入による針広混交林化など育成複層林へ誘導する森林における路網密度である。

(3) 林産物の搬出方法等

ア 林産物の搬出方法

林産物の搬出については、森林の更新及び森林の土地の保全への影響を極力抑えつつ、効率性を確保するよう、傾斜等の地形、地質、土壌等の条件に応じた適切な方法により行う。

(具体的な取扱い「主伐時における伐採・搬出指針」(令和3年3月16日付け2林整整第1157号林野庁長官通知)による。)

イ 更新を確保するため林産物の搬出方法を特定する森林の所在及びその搬出方法

該当なし。

〔指定の基準〕

制限林以外の森林であって、地形、地質、土壌等の関係から判断して搬出方法を特定しなければ土砂の流出又は崩壊等を引き起こすおそれがあり、森林の更新又は土地の保全に支障が生ずる林分とする。

(4) その他必要な事項

ア 林道等の開設に当たっては、林道規程等に基づく規格構造を遵守するとともに、土砂の流出を抑制するよう必要に応じて土留工等の施設を設置する。また、

林道通行に対する安全確保のために必要な標識等の交通安全施設の整備に努める。

イ 林道工事におけるクマゲラ、クマタカ・オオタカ及びシマフクロウ等生息森林の取扱い

林道工事の実施に当たっては、1の(3)のエにおける森林施業と同様の取扱いとする。

6 森林施業の合理化に関する事項

(1) 林業に従事する者の養成及び確保に関する方針

林業事業体の育成を図るため、民有林及び関係機関との連携を図りつつ、事業の安定的な発注、経営の安定強化のための指導、機械化の促進や労働安全衛生の対策等の指導を図る。

これらを通じて、優れた林業労働者の養成及び確保に資するものとする。

(2) 作業システムの高度化に資する林業機械の導入の促進に関する方針

森林整備や木材生産の効率化を図るため、チェーンソーとトラクタによる従来型の作業システムに替わる高性能林業機械を組み合わせた低コスト・高効率作業システムを推進する。

(3) 林産物の利用促進のための施設の整備に関する方針

流域森林・林業活性化協議会等への積極的な参加を通じ、産地銘柄の形成、道産材の需要・販路の拡大等に資するよう関係者へのPR及び働きかけに努める。

(4) その他必要な事項

路網と高性能林業機械を組み合わせた低コストで効率的な作業システムによる搬出間伐の実施、コンテナ苗植栽や伐採と造林の一貫作業システムの導入など造林・保育の低コスト化、森林バイオマスの有効活用、国有林の有するフィールド・技術力を活用したフォレスター等の人材育成及び林業技術の開発・普及に率先して取り組むほか、地方公共団体等との間の森林整備等に関する協定の締結や森林共同施業団地の設定等の取組の推進による民有林との連携強化により、地域における林業の成長産業化の実現に向けて国有林の役割を継続的に果たしていくこととする。

また、民有林において導入された森林経営管理制度に関し、担い手となる市町村への森林技術情報の提供等の支援を行うとともに、対象森林の経営管理の再委託先となる意欲と能力のある林業経営者の育成に取り組む。なお、国有林野事業に係る伐採等を他に委託して実施する場合には、意欲と能力のある林業経営者に委託するように配慮する。

第4 森林の保全に関する事項

1 森林の土地の保全に関する事項

(1) 土地の形質の変更に当たって留意すべき事項

ア 土地の形質の変更に当たっては、目的に応じて、その規模、態様等について、実施地区及び周辺の状態、地形、地質等を十分勘案して定めることとする。

特に、森林作業道等を設置する際は、配置や密度に十分留意し、土砂の流出や崩壊、水質汚濁の防止に努める。また、溪流沿いの森林作業道等の設置は、極力避けるものとする。

イ 土砂の切取、盛土を行う場合、法面については風化、浸食が生じないように法面緑化工、土留工、排水工などを必要に応じて施工することとする。

ウ その他、土地の形質の変更に当たっては、その態様に依りて土砂の流出、崩壊などの防止に必要な施設を設けるなど、適切な保全上の措置を講ずることとする。

(2) 樹根及び表土の保全その他森林の土地の保全に特に留意すべき森林の地区 別表2のとおり。

(3) 森林の土地の保全のため林産物の搬出方法を特定する必要がある森林及びその搬出 方法 該当なし。

〈指定の基準〉

制限林以外の森林であって、地形、地質、土壌等の自然的条件から判断して搬出方法を特定しなければ、土砂の流出又は崩壊を引き起こすおそれがあり、林地の保全に支障を及ぼす森林とする。

(4) その他必要な事項

防災的見地からの施業

林地崩壊のおそれがある地域や急傾斜地等については、樹根による土壌緊縛力を強化するため、育成複層林へ導くための施業等を推進することとする。

2 保安施設に関する事項

(1) 保安林の整備に関する事項

保安林については、Ⅱの第2の1に定める「森林の整備及び保全の目標その他森林の整備及び保全に関する基本的な事項」に則し、自然的条件、社会的要請及び保安林の配備状況等を踏まえ、水源の涵養、災害の防備、公衆の保健、風致の保存等の目的を達成するため保安林として指定する必要がある森林について、水源かん

養保安林、土砂流出防備保安林、土砂崩壊防備保安林、保健保安林等の指定に重点を置いて保安林の配備を計画的に推進する。

(2) 保安施設地区の指定に関する事項

保安施設地区については、Ⅱの第2の1に定める「森林の整備及び保全の目標その他森林の整備及び保全に関する基本的な事項」に則し、自然的条件、社会的要請及び保安林の配備状況等を踏まえ、水源の涵養、災害の防備等の目的を達成するため森林の造成事業又は森林の造成もしくは維持に必要な事業を行う必要がある森林又は土地について指定する。

(3) 治山事業の実施に関する事項

治山事業については、国民の安全・安心の確保を図る観点からⅡの第2の1に定める「森林の整備及び保全の目標その他森林の整備及び保全に関する基本的な事項」に則し、災害に強い地域づくりや水源地域の機能強化を図るため、事前防災・減災の考え方に立ち、緊急かつ計画的な実施を必要とする荒廃地等を対象として、植栽、本数調整伐等の保安林の整備及び溪間工、山腹工等の治山施設の整備を計画的に推進する。

また、近年、頻発する集中豪雨や地震等による大規模災害の発生のおそれが高まっており、とりわけ山腹崩壊等に伴う流木災害が顕在化していることを踏まえ、総合的な流木対策を推進する。

(4) その他必要な事項

ア 防風、防霧保安林の整備・保全

本森林計画区の特徴として、根釧台地に広がる農地の間に格子状の防風保安林が、また、太平洋岸には防霧保安林が配置され、厳しい気象条件から農地、市街地を守る役割を果たしている。これら防風、防霧保安林の中には、その機能を高めるため、異なる林齢により構成される複層林に誘導することが必要な林分や適切な密度管理のための間伐の必要な林分が増加していることから、地域の意見も聞きながら、きめ細かな施業を実施していくこととする。具体的には、小面積での伐採や伐採率の抑制等に留意するとともに、適切に造林を行い、防風、防霧保安林の世代交代を図る。

また、それ以外の林分についても、巡視等により森林の状態を適確に把握するとともに、必要に応じた保育・間伐の実施により森林の健全性の確保を図る。

イ 治山工事におけるクマガラ、クマタカ・オオタカ及びシマフクロウ等生息森林の取扱い

治山工事の実施に当たっては、第3の1の(3)の工における森林施業と同様の取扱いとする。

ウ 知床世界自然遺産地域の河川工作物については、サケ科魚類の生息環境改善の観点から、知床世界自然遺産地域科学委員会「河川工作物アドバイザー会議」の助言を得つつ、改良方法を検討し、改良済みの治山ダムについてもモニタリン

グ等を実施し、適切な管理に努めることとする。

3 鳥獣害の防止に関する事項

(1) 鳥獣害防止森林区域及び当該区域内における鳥獣害の防止の方法

ア 区域の設定

対象鳥獣に定められたエゾシカの鳥獣害防止森林区域については、別表3のとおり定める。

イ エゾシカ被害の防止の方法

森林の確実な更新、造林木の育成及び近年急増している農林業被害の防止を目的として、以下の対策を行う。

(ア) 簡易影響調査や自動撮影カメラの設置等のモニタリングにより生息状況の把握や被害の早期発見に努めるとともに、試験研究機関等との連携及び学識者の意見を踏まえつつ、エゾシカ捕獲事業等の防除に積極的に取り組む。

(イ) 北海道が策定する「北海道エゾシカ管理計画」に基づき個体数調整に協力するとともに、市町村が策定する被害防止対策及びその協議会への参画等を通じて、関係機関と連携を図る。

(ウ) 狩猟期間内における各種事業と狩猟との調整を計画的に図り、狩猟における安全対策の徹底について啓発活動を図る中で、効果的な被害の軽減に向けて取り組む。

4 森林病虫害の駆除及び予防その他森林の保護に関する事項

(1) 森林病虫害等の被害対策の方針

森林病虫害等による被害の防止対策の推進等については、被害の早期発見に努めるとともに、試験研究機関等と連携し、発生原因の究明及び早期防除に努める。

(2) 鳥獣による森林被害対策の方針

3(1)アにおける対象鳥獣以外の鳥獣及び鳥獣害防止森林区域外における対象鳥獣による森林被害について、地域の森林資源の構成、被害の動向を踏まえ、必要に応じて、3(1)イに準じた鳥獣害防止対策を推進する。

(3) 林野火災の予防の方針

山火事は、都市近郊林、自然公園等、利用者の多い地域に発生していることから、森林巡視等による適切な森林管理を行う。

森林の巡視に当たっては、国有林の中で、森林レクリエーションのための利用者が特に多く、山火事等の森林被害が多発するおそれのある地域を重点として、現地の実態に即し適切に実施する。また、春先の乾燥時期には巡視を強化するとともに、保護標識等を設置して一般入林者に対する普及啓発を図る。

(4) その他必要な事項

レクリエーション等を目的とした森林の保健・文化・教育的利用をはじめとして、森林の有する多面的な機能の発揮に対する期待が高まっており、森林の適正な保護と管理が重要となってきた。国有林の中で、利用者が多く見込まれる地域にあつては、現地の実態に即し森林の巡視を適切に実施するとともに、森林の産物の盗採等の森林法違反行為及び廃棄物等の不法投棄の未然防止並びに森林被害の早期発見等に努める。

また、入り込みが集中し、植生が荒廃するおそれの高い地域では、植生保全のための巡視や一般入林者に対するマナー啓発などの活動を実施する。植生荒廃が確認された森林については、植生の復元や標識、ロープ、柵の設置等による立入防止対策、裸地化防止措置等を行うものとする。

クマゲラやクマタカ・オオタカが生息する森林について、林道や歩道からおおむね50m以内に営巣木がある場合には、必要に応じて、営巣木の箇所の特定期に結びつかないように留意して、入林の抑制等を行う。

なお、森林の保護及び管理に当たっては、市町村、森林組合等の関係機関及び地域住民の一層の協力のもとに、効率的・合理的に推進する。特に、高山植物等の希少種の保護については、これら優れた自然環境を有する森林を維持・保存するため、入林者に対するマナー啓発、立入防止対策や移入種の排除のための取組について、ボランティア団体等とも連携して積極的に進める。

知床世界自然遺産地域の管理については、「知床世界自然遺産地域科学委員会」の助言を得つつ、関係行政機関、関係団体と連携、協力を図りながら行っているところであり、科学的なデータに基づいた保全・管理を行うため、当該地域に関する調査研究・モニタリング・評価を進めていくものとする。

第5 計画量等

1 伐採立木材積

単位 材積：千m³

区 分	総 数			主 伐			間 伐		
	総数	針葉樹	広葉樹	総数	針葉樹	広葉樹	総数	針葉樹	広葉樹
総数	3,735	3,417	318	979	891	88	2,756	2,526	230
うち前半5年分	1,798	1,645	153	437	397	39	1,361	1,247	114

2 間伐面積

単位 面積 : ha

区 分	間伐面積
総数	54,411
うち前半5年分	28,156

3 人工造林及び天然更新別の造林面積

単位 面積 : ha

区 分	人工造林	天然更新
総数	6,414	353
うち前半5年分	2,958	3

4 林道の開設又は拡張に関する計画

別表4に示すとおり。

5 保安林整備及び治山事業に関する計画

(1) 保安林として管理すべき森林の種類別面積等

ア 保安林として管理すべき森林の種類別の計画期末面積

単位 面積 : ha

保安林の種類	面 積		備 考
		うち前半5年分	
保安林総数(実面積)	275,037	275,037	
水源涵養のための保安林	204,890	204,890	
災害防備のための保安林	65,745	65,745	
保健、風致の保存のための保安林	15,962	15,962	

注) 総数欄は、2以上の目的を達成するために指定される保安林があるため、水源涵養のための保安林等の内訳の合計に一致しないことがある。

イ 計画期間内において保安林の指定又は解除を相当とする森林の種類別の所在及び面積等

該当なし。

ウ 計画期間内において指定施業要件の整備を相当とする森林の面積

単位 面積 : ha

種 類	指定施業要件の整備区分				
	伐採の方法 の変更面積	皆伐面積の 変更面積	択伐率の 変更面積	間伐率の 変更面積	植 栽 の 変更面積
水源かん養保安林		8,714			

(2) 保安施設地区として指定することを相当とする土地の所在及び面積等該当なし。

(3) 実施すべき治山事業の数量
別表5に示すとおり。

第6 その他必要な事項

1 保安林その他法令により施業について制限を受けている森林の施業方法

(1) 制限林の所在及び面積
別表6に示すとおり。

(2) 保安林の区域内の森林

保安林区域内の施業方法は、森林法の規定により各保安林ごとに定められた指定施業要件の範囲内で行うものとし、一般的留意事項は次のとおりである。

ア 主伐の方法

(ア) 主伐できる立木は、本森林計画区で定める標準伐期齢以上のものとする。

(イ) 伐採方法は、以下の3区分とする。

① 伐採種を定めない（皆伐を含む自由な伐採方法がとれるもの）

② 択伐（伐採区域内の立木を均等な割合で、単木的又は10m未満の幅の帯状に選定し伐採するもの、あるいは樹群を単位とする伐採で、当該伐採により生ずる無立木地の面積が0.05haを超えないもの）

③ 禁伐（全ての立木の伐採を禁止するもの）

イ 伐採の限度

(ア) 皆伐面積の限度は、森林法施行令の規定に基づき公表される面積の範囲内とする。

(イ) 1箇所当たりの皆伐面積の限度は、当該保安林につき定められた指定施業要件の範囲内とする。

(ウ) 防風、防霧保安林については、標準伐期齢以上である部分を幅20m以上にわたり帯状に残存させるものとする。

(エ) 択伐の限度は、当該伐採年度の初日における、その森林の立木材積に択伐率を乗じて得られる材積を超えないものとする。

(オ) 択伐率は、当該伐採年度の初日における当該森林の立木の材積から前回の択伐を終えたときの当該森林の立木の材積を減じて得た材積を当該伐採年度の初日における当該森林の立木の材積で除して算出するものとする。ただし、その算出された数字が10分の3を超えるときは10分の3とする。(指定施業要件において植栽を定める森林の伐採跡地につき、植栽によらなければ適確な更新が困難と認められる場合については10分の4とする。)

ウ 間伐の方法及び限度

伐採年度ごとに伐採することができる立木の材積は、原則として当該伐採年度の初日におけるその森林の立木の材積の10分の3.5を超えず、かつその伐採によりその森林に係る樹冠疎密度が10分の8を下回ったとしても、当該伐採年度の翌年度の初日から起算しておおむね5年後において、その森林の当該樹冠疎密度が10分の8以上に回復することが確実であると認められる範囲内の材積を超えないものとする。

エ 植栽の方法、期間及び樹種

(ア) 伐採跡地への植栽は、満1年生以上の苗を、おおむね1ha当たり伐採跡地につき適確な更新を図るために必要なものとして農林水産省令で定める植栽本数以上の割合で均等に分布するように植栽するものとする。

(イ) 植栽は、伐採が終了した年度の翌年度の初日から起算して原則2年以内に行うものとする。

(ウ) 植栽する樹種は、保安機能の維持又は強化を図り、かつ経済的利用に資することができる樹種として指定施業要件で指定された樹種を植栽するものとする。

(3) 自然公園特別地域内における森林

自然公園特別地域内における森林の施業方法の決定は、次の特別地域における制限により行う。

区 分	制 限 内 容
特別保護地区	特別保護地区内の森林は、禁伐とする。
第一種特別地域	<p>ア 第一種特別地域内の森林は、禁伐とする。 ただし、風致維持に支障のない場合に限り単木択伐法を行うことができる。</p> <p>イ 単木択伐法は、次の規定により行う。 (ア) 伐期齢は、標準伐期齢に見合う年齢に10年以上を加えて決定する。 (イ) 択伐率は現存蓄積の10%以内とする。</p>
第二種特別地域	<p>ア 第二種特別地域内の森林の施業は、択伐法による。 ただし、風致維持に支障のない限り皆伐法によることができる。</p> <p>イ 公園計画に基づく車道、歩道、集団施設地区及び単独施設の周辺（造林地、要改良林分、薪炭林を除く）は、原則として単木択伐法によるものとする。</p> <p>ウ 伐期齢は、標準伐期齢に見合う年齢以上とする。</p> <p>エ 択伐率は、用材林において現存蓄積の30%以内とする。</p> <p>オ 伐採及び更新に際し、特に風致上必要と認める場合は、自然環境局長（国定公園、道立自然公園にあっては知事）は、伐区、樹種、林型の変更を要望することができる。</p> <p>カ 特に指定した風致樹については、保育及び保護に努めることとする。</p> <p>キ 皆伐法による場合、その伐区は次のとおりとする。 (ア) 一伐区の面積は2ha以内とする。 ただし、樹冠疎密度3より多く保残木を残す場合又は車道、歩道、集団施設地区、単独施設等の主要公園利用地点から望見されない場合は、伐区面積を増大することができる。 (イ) 伐区は、更新後5年以上を経過しなければ連続して設定することはできない。 この場合においても、伐区は努めて分散させなければならない。</p>
第三種特別地域	第三種特別地域内の森林は、全般的な風致の維持を考慮して施業を実施し、特に施業の制限を受けないものとする。

(4) 史跡名勝天然記念物内における森林

史跡名勝天然記念物内における森林の施業方法の決定は、文化財保護法等の法令によるが、一般的な取扱いは次による。

区 分	制 限 内 容
史 跡 名 勝 天 然 記 念 物	原則として禁伐とする。ただし、属地的に保存の要件として被害木の除去、病虫害防除等の施業を行えるものとする。

(5) 鳥獣保護区内における森林

鳥獣保護区内における森林の施業方法の決定は「鳥獣保護区内の森林施業について（昭和39年1月17日付け38林野第1043号）」によるが、一般的な取扱いは次による。

区 分	制 限 内 容
鳥 獣 保 護 区 特 別 保 護 地 区	ア 伐採の方法を制限しなければ鳥獣の生息、繁殖又は安全に支障があると認められるものについては伐採種は択伐。 イ 伐採の方法を制限しなければ鳥獣の生息、繁殖又は安全に特に著しい支障があるものについては禁伐。 ウ その他の森林にあつては伐採種を定めない。 エ 地域別の森林計画の初年度以降5年間において皆伐できる面積の限度は、当該特別保護地区内の皆伐区域面積を標準伐期齢に相当する数で除して得た面積の5倍とする。 オ 保護施設を設けた樹木及び鳥獣の保護繁殖上必要があると認められる特定の樹種は禁伐とする。

(6) その他の制限林

伐採の方法及び限度は、法令等の制限の範囲内とする。

(7) その他

制限林が重複した場合の施業方法は、制限の強い方とする。

2 その他必要な事項

(1) 民有林と国有林が一体となった森林づくり

民有林と国有林が一体となった森林づくりを進めるため、北海道と連携して、森林資源の循環利用の推進による地域産業の活性化や雇用の創出、森林整備・保全の推進による公益的機能の持続的な発揮に向けた取組を実施する。

(2) 森林環境教育の推進

森林の整備及び保全に当たっては、森林の持つ多面的機能の効用についての国民の理解が不可欠である。

このため、多様な野外活動や教育の場としてフィールドを提供するほか、木とふれあい、木に学び、木と生きるを基本とする「木育」を進めるなど、森林環境教育を推進し、森林・林業に関する普及・啓発に努める。

これら森林環境教育の推進に当たっては、木材の利用は森林を育てることにつながり、地球温暖化対策に寄与することについても、理解の促進に努める。

(3) 開かれた国有林野事業の展開

森林の多面的な利用・活用のために、市民参加やボランティアの活動を支え、それに必要な情報は適切に発信することにより、広く開かれた国有林野事業を目指すこととする。

(4) 世界自然遺産地域に関する普及啓発

知床世界自然遺産地域内の巡視、施設、標識類の管理・整備や森林、動植物に関する調査等を通じ、同地域の貴重な森林生態系や、その保護の必要性について、積極的な普及啓発を行うものとする。

(5) 濁水防止への配慮

水生生物の生育・生息環境の保全のために、森林施業や土木工事等を実施する場合は、濁水の河川への流出防止に十分配慮する。

(6) アイヌ文化振興への貢献

「アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律」に基づき、アイヌ文化振興に資する取組を地域との連携を図り推進する。

III 別 表

別表1 公益的機能別施業森林の区域及び当該区域内における施業方法

1 水源の涵養の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林

単位 面積 : ha

区 分		森林の区域	面 積	施業方法
総 数			286,042.44	
市 町 村 別 内 訳	釧路市	※森林の区域（林小班） は、北海道森林管理局計画 課に備え置く別冊のとおり である。	40,786.25	Ⅱ-第3-4-(1)-イ-(ア) のと おり。
	根室市		6,393.06	
	釧路町		6,338.46	
	厚岸町		15,200.40	
	浜中町		1,020.79	
	標茶町		24,380.59	
	弟子屈町		42,426.84	
	鶴居村		13,561.24	
	白糠町		36,742.18	
	別海町		6,260.68	
	中標津町		25,483.01	
	標津町		32,524.34	
	羅臼町		34,924.60	

2 土地に関する災害の防止及び土壌の保全の機能、快適な環境の形成の機能又は保健文化機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林

①土地に関する災害の防止及び土壌の保全の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林

単位 面積 : ha

区 分		森林の区域	面 積	施業方法
総 数			60,774.57	
市 町 村 別 内 訳	釧路市	※森林の区域（林小班） は、北海道森林管理局計画 課に備え置く別冊のとおり である。	2,300.88	Ⅱ-第3-4-(1)-イ-(イ) のと おり。
	根室市		4,493.10	
	釧路町		1,175.98	
	厚岸町		349.18	
	浜中町		1,020.79	
	標茶町		387.33	
	弟子屈町		3,607.74	
	鶴居村		19.25	
	白糠町		11,123.88	
	別海町		5,302.95	
	中標津町		4,371.54	
	標津町		3,990.68	
	羅臼町		22,631.27	

②快適な環境の形成の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林

単位 面積 : ha

区 分		森林の区域	面 積	施業方法
総 数			16,008.34	
市 町 村 別 内 訳	釧路市	※森林の区域（林小班） は、北海道森林管理局計画 課に備え置く別冊のとおり である。	-	Ⅱ-第3-4-(1)-イ-(イ) のと おり。
	根室市		4,488.09	
	釧路町		476.79	
	厚岸町		349.18	
	浜中町		1,020.79	
	標茶町		387.33	
	弟子屈町		0.00	
	鶴居村		0.00	
	白糠町		0.00	
	別海町		5,302.95	
	中標津町		3,388.36	
	標津町		594.85	
	羅臼町		-	

③保健文化機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林

単位 面積 : ha

区 分		森林の区域	面 積	施業方法
総 数			92,183.52	
市 町 村 別 内 訳	釧路市	※森林の区域（林小班） は、北海道森林管理局計画 課に備え置く別冊のとおり である。	14,363.43	Ⅱ-第3-4-(1)-イ-(イ) のと おり。
	根室市		1,860.31	
	釧路町		1,669.06	
	厚岸町		3,404.73	
	浜中町		0.00	
	標茶町		2,117.65	
	弟子屈町		24,535.49	
	鶴居村		1,865.95	
	白糠町		715.54	
	別海町		390.22	
	中標津町		5,154.54	
	標津町		8,784.92	
	羅臼町		27,321.68	

別表2 樹根及び表土の保全その他森林の土地の保全に特に留意すべき森林の地区

単位 面積：ha

森林の所在		面積	留意すべき事項	備考
市町村	区域			
総 数		253,823		
釧路市	※森林の区域（林班）は、北海道森林管理局計画課に備え置く別冊のとおりである。	38,163	地形、地質、土壌等、気象の面から、森林の施業及び土地の形質変更に当たって土砂の流出または崩壊、水害等の災害の発生をもたらし、または地域における水源の確保、環境の保全に支障を及ぼすことのないように特に林地保全に留意する。	水かん、土流、その他
根室市		395		魚つき
釧路町		5,258		水かん、土崩、干害
厚岸町		13,062		水かん
浜中町		-		
標茶町		23,919		水かん、
弟子屈町		35,695		水かん、土流、土崩
鶴居村		13,561		水かん、土流
白糠町		36,346		水かん、土流、土崩、その他
別海町		229		魚つき
中標津町		21,860		水かん、土流、干害
標津町		31,342		水かん、土流、干害、その他
羅臼町		33,994		水かん、土流、土崩、干害、魚つき、その他

注1) 備考欄の「水かん」は水源かん養保安林、「土流」は土砂流出防備保安林、「土崩」は土砂崩壊防備保安林、「干害」は干害防備保安林、「魚つき」は魚つき保安林、「その他」は砂防指定地である。

注2) 総数は四捨五入の関係から必ずしも一致しない。

別表3 鳥獣害防止森林区域

単位 面積 : ha

区 分		対象鳥獣の種類	森林の区域	面積
総 数				285,790.45
市 町 村 別 内 訳	釧路市	エゾシカ	※森林の区域（林班）は、 北海道森林管理局計画課に 備え置く別冊のとおりである。	40,786.25
	根室市			6,393.06
	釧路町			6,338.46
	厚岸町			15,200.40
	浜中町			1,020.79
	標茶町			24,380.59
	弟子屈町			42,426.84
	鶴居村			13,561.24
	白糖町			36,742.18
	別海町			6,260.68
	中標津町			25,483.01
	標津町			32,272.35
	羅臼町			34,924.60

別表4 開設又は拡張すべき林道の種類別及び箇所別の数量等

ア 開設すべき林道の種類別及び箇所別の数量等

単位 延長：km、面積：ha

種類	区分	位置 (市町村)	路線名	延長	利用区域 面積	前半5カ年 の計画箇所	対図 番号	備考	
自動車道 (管理)	林業専用道	釧路市	上幌鹿	2.4	118	○	1-1		
	林業専用道	釧路市	徹別発電沢	1.6	136		1-2		
	林業専用道	釧路市	徹別熊の沢	0.6	80		1-3		
	小計		3 路線		4.6	334			
	林業専用道	釧路町	37林班	1.0	83		2-4		
	小計		1 路線		1.0	83			
	林業専用道	標茶町	西丸山	1.1	105	○	3-5		
	林業専用道	標茶町	オソベツ第2支線	1.5	162	○	4-6		
	林業専用道	標茶町	P F 第6支線	2.1	327	○	5-7		
	小計		3 路線		4.7	594			
	林業専用道	弟子屈町	第2沼の湯	1.3	291	○	6-8		
	林業専用道	弟子屈町	第2美羅尾支線	1.6	77		7-9		
	林業専用道	弟子屈町	琴似川	1.1	220		8-10		
	小計		3 路線		4.0	588			
	林業専用道	鶴居村	ポン新幌呂1	1.1	105	○	9-11		
	小計		1 路線		1.1	105			
	林業専用道	白糠町	白糠庶路横断	4.0	429		10-12		
	林業専用道	白糠町	セタラ沢	1.5	161		10-13		
	小計		2 路線		5.5	590			
	林業専用道	中標津町	養老牛迂回線	1.1	114	○	11-14		
	林業専用道	中標津町	虹別第5支線	1.1	141	○	11-15		
	林業専用道	中標津町	499林班線	2.0	636	○	12-16		
	林業専用道	中標津町	道虹線	1.4	188		11-17		
	林業専用道	中標津町	454林班線	2.7	146		11-18		
	小計		5 路線		8.3	1,225			
	管理計		18 路線		29.2	3,519			
合計		18 路線		29.2	3,519				

注1) 合計は四捨五入の関係から必ずしも一致しない。

注2) 開設には新設する路線以外に、既存の作業道を改良等により林業専用道に繰り入れするものを含む。

注3) 林道開設計画図については、北海道森林管理局計画課に備え置く。

イ 拡張すべき林道の種類別及び箇所別の数量等

単位 延長：m

種類	位置 (市町村)	路線名	延長	箇所数	備考 (拡張の内容)
自動車道 (基幹)	厚岸町	P F 第 1 幹線	3,100	1	林道拡幅改良
	小計	1 路線	3,100	1	
	標茶町	P F 第 2 幹線	20	1	橋梁工
	小計	1 路線	20	1	
	白糠町	新縫別	35	1	橋梁工
	小計	1 路線	35	1	
	根室市	落石	18	1	橋梁補修
	小計	1 路線	18	1	
	中標津町	クテクンベツ	14	1	橋梁補修
	小計	1 路線	14	1	
	標津町	滝の沢	50	1	擁壁工
	標津町	薫別	60	1	擁壁工
	標津町	ホロカクンベツ	50	1	溝渠工、擁壁工
	小計	3 路線	160	3	
	羅臼町	陸志別	27	1	橋梁補修
	小計	1 路線	27	1	
	基幹 計		9 路線	3,374	9
合 計		9 路線	3,374	9	

別表5 治山事業の数量

単位 地区

所 在		治山事業 施工地区数	主な工種	備 考
市町村	区域（林班）			
釧路市	2011, 2012, 2017, 2043, 2078 , 2079	4	溪間工・山腹工	
根室市	1005, 1006	1	植栽工	
釧路町	8, 21, 22	2	溪間工	
白糠町	1011, 1013, 1033, 1035	4	溪間工	
弟子屈町	4144、4166、4225	3	溪間工	
中標津町	507, 511	1	溪間工	
標津町	12, 79	2	山腹工	
羅臼町	216, 244	2	溪間工	
合計		19		

別表6 法令により施業について制限を受けている森林の施業方法

単位 面積：ha

種類	森林の所在		面積	施業方法		備考
	市町村	区域		伐採方法	その他	
保安林	水源かん養	釧路市	37,051.20			
		釧路町	3,654.59			
		厚岸町	13,052.66			
		標茶町	23,839.43			
		弟子屈町	34,146.67			
		鶴居村	13,500.45			
		白糠町	26,294.54			
		中標津町	20,570.83			
		標津町	27,133.71			
		羅臼町	5,645.48			
	小計		204,889.56			
	土砂流出防備	釧路市	1,058.36			
		弟子屈町	1,374.13			
		鶴居村	60.57			
		白糠町	10,022.44			
		中標津町	998.32			
		標津町	3,262.24			
		羅臼町	27,550.88			
	小計		44,326.94			
	土砂崩壊防備	釧路町	652.66			
		弟子屈町	41.07			
		白糠町	7.47			
		羅臼町	322.00			
	小計		1,023.20			
	防風	根室市	19.10			
		厚岸町	356.00			
		標茶町	386.09			
		弟子屈町	30.99			
		別海町	4,948.33			
		中標津町	3,255.97			
標津町		593.82				
小計		9,590.30				
干害防備	釧路町	470.95				
	中標津町	276.81				
	標津町	915.34				
	羅臼町	421.08				
小計		2,084.18				
防霧	根室市	6,213.66				
	釧路町	1,487.89				
	浜中町	1,018.66				
小計		8,720.21				

※森林の区域（林班）は、北海道森林管理局計画課に備え置く別冊のとおりである。

※保安林の指定施業要件の範囲内とする。

種 類	森林の所在		面 積	施業方法		備 考
	市町村	区 域		伐 採 方 法	その他	
保安林	魚つき	根室市	(318.94)	※保安林の指定 施業要件の範囲 内とする。		
		釧路町	74.03			
		別海町	(463.91)			
	小 計		228.60			
			(782.85)			
			302.63			
	保健	釧路市	(4,173.31)			
		根室市	(286.17)			
		釧路町	2.20			
		厚岸町	(642.81)			
		弟子屈町	(866.35)			
		白糠町	3,492.40			
		中標津町	(319.45)			
	小 計		(394.19)			
			(3,824.17)			
			(10,506.45)			
			3,494.60			
風致	釧路市	(270.62)				
	弟子屈町	40.10				
	白糠町	565.20				
小 計		(0.30)				
		(270.92)				
		605.30				
計		(11,560.22)				
		275,036.92				
砂防指定地	釧路市	24.15	択伐、禁伐			
	白糠町	(0.25)				
	標津町	6.79				
	羅臼町	(3.07)				
計		17.46				
		(23.66)				
		51.55				
		(26.98)				
		99.95				

単位 面積：ha

種 類	森林の所在		面 積	施業方法		備 考
	市町村	区 域		伐採方法	その他	
国立公園	特別保護地区	釧路市	(4,746.08)	※Ⅱ 第6-1- (3)の表による。		知床国立公園 阿寒摩周国立公園
			366.58			
		弟子屈町	(1,852.82)			
		白糠町	2,024.31			
		羅臼町	(178.32)			
			(8,389.27)			
			47.62			
		小 計	(15,166.49)			
			2,438.51			
	第一種特別地域	釧路市	(928.26)			
			8.36			
		標茶町	(853.50)			
		弟子屈町	(4,907.19)			
			111.25			
		中標津町	(535.57)			
			0.94			
		羅臼町	(1,601.92)			
			2.91			
		小 計	(8,826.44)			
			123.46			
	第二種特別地域	釧路市	(7,071.74)			
			68.43			
		弟子屈町	(8,958.54)			
			127.17			
	白糠町	(383.72)				
	羅臼町	(852.99)				
		12.46				
	小 計	(17,266.99)				
		208.06				
第三種特別地域	釧路市	(3,632.03)				
		69.09				
	標茶町	(973.50)				
		0.12				
	弟子屈町	(10,253.14)				
		168.44				
	羅臼町	(4,500.95)				
		3.36				
	小 計	(19,359.62)				
		241.01				
	計	(60,619.54)				
		3,011.04				

※森林の区域（林班）は、北海道森林管理局計画課に備え置く別冊のとおりである。

種 類	森林の所在		面 積	施業方法		備 考
	市町村	区 域		伐 採 方 法	そ の 他	
国 定 公 園	特別 保護地区	厚岸町	(253.04)	※Ⅱ 第6-1 -(3)の表によ る。		厚 岸 霧 多 布 昆 布 森 国 定 公 園
	小 計		(253.04)			
	第一種 特別地域	厚岸町	(225.39)			
	小 計		(225.39)			
	第二種 特別地域	釧路町	(547.15)			
	小 計		(547.15) 18.37			
	第三種 特別地域	釧路町	(1,028.73)			
	小 計		(1,028.73) 28.46			
計			(2,054.31) 46.83			
道 立 自 然 公 園	第一種 特別地域	別海町	(228.60)	※Ⅱ 第6-1 -(3)表によ る。		野 付 風 蓮 道 立 自 然 公 園 斜 里 岳 道 立 自 然 公 園
		標津町	161.62			
	小 計		(461.12)			
	第三種 特別地域	根室市	(689.72)			
		標津町	161.62			
	小 計		(440.45) 1.04			
計		(795.52) 1.04				
計			(1,485.24) 162.66			
原生自然環境 保全地域	羅臼町	849.91	849.91	※Ⅱ 第6-1 -(6)による。		
計			849.91			
都道府県自然環境 保全地域特別 地区	根室市	(23.34)	(23.34)	※Ⅱ 第6-1 -(6)による。		
計			(23.34)			
鳥 獣 保 護 区 特 別 保 護 地 区	釧路市		12.42	※Ⅱ 第6-1 -(5)による。		
	根室市		(41.35)			
	釧路町		(30.75)			
	厚岸町		(478.43)			
	弟子屈町		(69.30)			
	白糠町		(74.02) 0.54			

※森林の区域
(林班)は、
北海道森林管
理局計画課に
備え置く別冊
のとおりであ
る。

種 類	森林の所在		面 積	施業方法		備 考
	市町村	区 域		伐 採 方 法	その他	
鳥獣保護区特別 保護地区	別海町	※森林の区域 (林班)は、北 海道森林管理 局計画課に備 え置く別冊の とおりである。	(301.39)	※Ⅱ 第6-1 -(5)による。		
	中標津町		76.55			
	羅臼町		(8,436.89)			
計			(9,432.13)			
史跡名勝天然記 念物	根室市		(23.34)			※Ⅱ 第6-1 -(4)による。
			計			

注) () 書の数値は重複制限林で外数である。

(附)参 考 资 料

1 森林計画区の概況

(1) 市町村別土地面積及び森林面積

単位 面積:ha

区 分	区域面積 (A)	森 林 面 積			森林比率 B/A	
		総数(B)	国有林	民有林		
総 数	953,064	560,982	292,800	268,182	59%	
市町村別内訳	釧 路 市	136,329	100,571	40,677	59,894	74%
	根 室 市	50,625	17,656	6,567	11,089	35%
	釧 路 町	25,266	18,548	6,520	12,028	73%
	厚 岸 町	73,927	42,497	15,943	26,554	57%
	浜 中 町	42,363	16,130	1,113	15,017	38%
	標 茶 町	109,937	60,302	25,805	34,497	55%
	弟子屈町	77,433	52,267	42,218	10,049	67%
	鶴 居 村	57,180	36,615	13,725	22,890	64%
	白 糠 町	77,313	63,918	36,753	27,165	83%
	別 海 町	131,963	38,762	10,416	28,346	29%
	中標津町	68,487	33,095	25,515	7,581	48%
	標 津 町	62,469	42,685	32,635	10,050	68%
	羅 臼 町	39,772	37,935	34,912	3,023	95%

注1) 区域面積は「第128回(令和3年)北海道統計書」、森林面積は「令和2年度北海道林業統計(令和3年3月)」による。

なお、森林面積(国有林)は、森林管理局所管国有林及びその他国有林である。

2) 計は四捨五入のため必ずしも一致しない。

(2) 地 況

ア 気 候

観測地	気温(℃)			年降水量 (mm)	最深積雪 (cm)	風速(m/s)		風向	備考
	最高	最低	平均			最大	平均		
白 糠	29.3	-24.8	6.7	1261.5	59	16.9	2.4	南南東	アメダス
中 徹 別	34.4	-25.5	6.7	1481.5	55	11.3	1.3	西南西	アメダス
阿寒湖畔	34.4	-26.2	5.3	1407.5	80	11.1	1.5	南	アメダス
釧 路	31.7	-18.9	7.6	1319.5	45	24.2	5.1	南西	気象台・測候所
鶴 居	33.8	-23.6	6.7	1420.0	49	10.9	1.8	西南西	アメダス
弟 子 屈	34.4	-22.6	6.0	1329.0	-	17.3	3.5	北北西	アメダス
川 湯	35.0	-24.9	5.6	1148.5	55	9.5	1.6	南東	アメダス
知 方 学	29.3	-13.2	6.7	1230.0	-	28.3	3.8	南	アメダス
太 田	30.5	-16.6	6.8	1376.5	61	17.9	3.0	南南東	アメダス
榊 町	29.0	-20.9	6.8	1176.5	-	18.7	3.3	南南東	アメダス
厚 床	30.4	-21.9	6.5	1300.0	49	17.1	3.1	南南東	アメダス
根 室	29.7	-13.3	7.4	1186.5	41	21.5	5.3	西北西	気象台・測候所
納 沙 布	28.8	-13.1	7.3	739.0	-	24.3	5.1	東	アメダス
別 海	32.1	-25.4	6.5	1369.5	60	13.6	2.0	南南東	アメダス
上 標 津	33.3	-21.3	6.5	1292.5	-	15.5	2.6	南	アメダス
中 標 津	33.4	-23.0	6.7	1346.0	58	13.9	2.4	南南東	アメダス
標 津	31.6	-21.4	6.6	1310.0	-	14.4	2.7	東	アメダス
羅 臼	28.7	-14.5	6.8	1865.5	71	15.5	2.5	北西	アメダス

注1) 気象庁HP「気象統計情報(<http://www.jma.go.jp/jma/menu/report.html>)」検索結果による。

2) 気象データは2021年のデータである。

イ 地 勢

(ア) 主な山岳

山岳名	標高(m)	所在等
羅 白 岳	1,661	羅白町・斜里町
サ シ ル イ 岳	1,564	羅白町
知 円 別 岳	1,544	羅白町・斜里町
雌 阿 寒 岳	1,499	釧路市
海 別 岳	1,419	標津町・羅白町・斜里町
雄 阿 寒 岳	1,370	釧路市
知 床 岳	1,254	知床・阿寒

注) 国土地理院日本の主な山岳標高<http://www.gsi.go.jp/KOKUJYOHO/MOUNTAIN/mountain.html>による。

(イ) 主な河川等

河川名	主たる経過地	流路延長 (km)	流域面積 (km ²)	備 考
釧 路 川	弟子屈町・標茶町・釧路市	154	2,510	一級河川

注) 第128回(令和3年)北海道統計書による。

湖沼名	所在地	面積 (km ²)	備 考
屈 斜 路 湖	弟子屈町	79.54	
風 蓮 湖	根室市・別海町	59.01	
厚 岸 湖	厚岸町	32.31	
摩 周 湖	弟子屈町	19.22	
阿 寒 湖	釧路市	13.25	
塘 路 湖	標茶町	6.27	
温 根 沼	根室市	5.72	
火 散 布 沼	浜中町	3.76	
パ ン ケ ト ー	釧路市	2.86	
シ ラ ル ト ロ 沼	標茶町	1.72	
達 古 武 湖	釧路町	1.31	

注) 第128回(令和3年)北海道統計書による。

(3) 土地利用の状況

単位 面積:ha

区 分	総数	森林	農 地				その他	
			計	うち田	うち畑	うち牧場		
総 数	953,064	560,982	260,772	0	203,749	57,023	131,310	
市町村別内訳	釧路市	136,329	100,571	14,583	-	8,811	5,772	21,175
	根室市	50,625	17,656	28,834	-	16,467	12,367	4,135
	釧路町	25,266	18,548	1,969	-	852	1,117	4,749
	厚岸町	73,927	42,497	12,027	-	9,841	2,186	19,403
	浜中町	42,363	16,130	18,106	-	13,283	4,823	8,127
	標茶町	109,937	60,302	37,349	-	26,764	10,585	12,286
	弟子屈町	77,433	52,267	12,153	-	9,361	2,792	13,013
	鶴居村	57,180	36,615	14,123	-	9,159	4,964	6,442
	白糠町	77,313	63,918	7,534	-	3,898	3,636	5,861
	別海町	131,963	38,762	72,957	-	69,058	3,899	20,244
	中標津町	68,487	33,095	25,250	-	23,519	1,731	10,142
	標津町	62,469	42,685	15,293	-	12,217	3,076	4,491
羅臼町	39,772	37,935	594	-	519	75	1,243	

注1) 総数及び農地は「第128回(令和3年)北海道統計書」、森林面積は「令和2年度北海道林業統計(令和3年3月)」による。

2) 計は四捨五入のため必ずしも一致しない。

(4) 産業別就業者数

単位 人数:人

区 分	総数	第1次産業				第2次産業	第3次産業	分類不能の産業	
		総数	農業	林業	漁業				
総 数	148,418	18,732	9,561	592	8,579	27,766	96,561	5,359	
市町村別内訳	釧路市	74,840	1,679	888	160	631	13,682	54,775	4,704
	根室市	13,876	2,768	339	9	2,420	3,162	7,751	195
	釧路町	10,145	766	132	34	600	2,004	7,176	199
	厚岸町	5,535	1,686	408	48	1,230	1,214	2,615	20
	浜中町	3,745	1,887	642	5	1,240	613	1,243	2
	標茶町	3,953	1,262	1,187	61	14	494	2,178	19
	弟子屈町	3,958	594	520	73	1	582	2,768	14
	鶴居村	1,230	421	401	17	3	115	690	4
	白糠町	3,894	539	260	75	204	1,215	2,127	13
	別海町	8,507	3,357	2,750	25	582	1,115	3,924	111
	中標津町	12,615	1,553	1,479	45	29	2,452	8,535	75
	標津町	2,899	958	525	38	395	470	1,468	3
羅臼町	3,221	1,262	30	2	1,230	648	1,311	0	

注) 平成27年国勢調査による。

2 森林の現況

(1) 齢級別森林資源表

森林計画区:012 釧路根室

単位 面積:ha、材積:1,000m³、立竹:1,000束、成長量:成長量:1,000m³

区分	総数			1 齢級			2 齢級			3 齢級			4 齢級		
	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量
総数	総数	286,035.35	45,910	683	2,058.49	80	1,756.62	3	1,868.53	3	651.19	1			
	針	257,085.02	45,884	683	2,058.49	80	1,756.62	3	1,868.53	3	651.19	1			
	広	156,834.21	27,776	503	2,055.96	20	1,756.62		1,865.67	2	647.65	9			
総数	針	100,250.81	18,108	179	2,53	60	2.86	1	2.86	1	3.54	1			
	広	80,585.08	13,025	310	2,047.45	80	1,756.62	3	1,843.71	3	465.61	9			
	針	80,140.83	11,940	310	2,046.22	20	1,756.62	2	1,841.51	2	465.61	9			
人工林	広	444.25	1,086	1	1.23	60		2	2.20	1		1			
	針	69,898.17	11,369	277	103.96	63	65.94	1	59.72	1	47.65	7			
	広	69,456.06	10,327	276	102.73	14	65.94		57.52	1	47.65	7			
育成	針	442.11	1,042	1	1.23	49			2.20						
	広	(10,600.51)			(52.59)										
	針	(373.38)							(172.14)		(13.28)				
総数	針	10,686.91	1,656	34	1,943.49	17	1,690.68	3	1,783.99	2	417.96	3			
	広	10,684.77	1,612	34	1,943.49	6	1,690.68		1,783.99	1	417.96	2			
	針	2.14	43			12		2		1		1			
総数	針	176,499.94	32,859	372	11.04				24.82		185.58				
	広	76,693.38	15,836	193	9.74				24.16		182.04				
	針	99,806.56	17,023	179	1.30				0.66		3.54				
天然林	針														
	広														
	針														
総数	針	23,098.39	3,883	53	3.50				24.82		136.18				
	広	17,382.93	2,417	33	2.20				24.16		132.64				
	針	5,715.46	1,466	20	1.30				0.66		3.54				
天然生	針	153,401.55	28,976	319	7.54						49.40				
	広	59,310.45	13,419	161	7.54						49.40				
	針	94,091.10	15,556	159											
無立木地		28,950.33	26												

(注) 1.人工林及び天然林で点生木のみの林分については、本表の集計には含まれていない。

2.竹林の集計値については、総計欄には含まれていない。

3.()は、人工林の育成複層林の上、中層木の面積で外書。

森林計画区:012 釧路根室

単位 面積:ha、材積:1,000m³、立竹:1,000束、成長量:1,000m³

区分	5 齢級			6 齢級			7 齢級			8 齢級			9 齢級		
	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量
総数	1,084.07	18	2	2,851.18	80	7	4,873.04	255	16	9,226.79	1,005	49	11,667.52	1,589	55
総数	1,084.07	18	2	2,851.18	80	7	4,873.04	255	16	9,226.79	1,005	49	11,667.52	1,589	55
針	1,080.14	16	2	2,848.03	75	7	4,869.23	241	16	9,186.88	926	49	11,428.17	1,389	55
広	3.93	2		3.15	6		3.81	15		39.91	79		239.35	200	
総数	566.83	18	2	1,263.34	78	7	2,663.86	251	16	7,691.80	996	49	9,760.71	1,555	55
針	562.90	16	2	1,263.34	72	7	2,663.86	236	16	7,691.68	921	49	9,758.18	1,377	55
広	3.93	2			5		0.12	14			75		2.53	177	
総数	89.77	9	1	207.03	20	2	1,244.28	136	8	6,476.15	854	41	9,715.68	1,547	55
針	87.98	7	1	207.03	16	2	1,244.28	123	8	6,476.03	782	41	9,713.15	1,370	55
広	1.79	2			4			13		0.12	72		2.53	177	
人工林	(1.33)			(37.08)			(29.90)			(33.25)					
総数	477.06	9	1	1,056.31	57	6	1,419.58	115	8	1,215.65	142	7	45.03	8	
針	474.92	9	1	1,056.31	56	6	1,419.58	113	8	1,215.65	140	7	45.03	8	
広	2.14	1			1			2			2				
総数	517.24			1,587.84	3		2,209.18	5		1,534.99	9		1,906.81	34	1
針	517.24			1,584.69	3		2,205.37	4		1,495.20	5		1,669.99	12	
広				3.15			3.81			39.79	4		236.82	22	
天然林															
総数	512.07			1,587.84	3		2,205.71	4		1,514.98	7		1,853.34	28	
針	512.07			1,584.69	3		2,203.76	4		1,487.84	4		1,662.76	11	
広				3.15			1.95			27.14	3		190.58	16	
総数	5.17						3.47			20.01	2		53.47	6	
針	5.17						1.61			7.36			7.23		
広							1.86			12.65	1		46.24	6	
竹林															
無立木地															

(注) 1.人工林及び天然林で点生木のみの林分については、本表の集計には含まれていない。

2.竹林の集計値については、総計欄には含まれていない。

3.()は、人工林の育成複層林の上、中層木の面積で外書。

森林計画区:012 釧路根室

単位 面積:ha、材積:1,000m³、立竹:1,000束、成長量:成長量:1,000m³

区分	1.0 齢級			1.1 齢級			1.2 齢級			1.3 齢級			1.4 齢級		
	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量
総数	15,832.57	2,671	71	15,960.69	2,485	45	13,925.64	2,447	37	6,519.30	1,674	20	1,625.58	471	6
総数	15,832.57	2,671	71	15,960.69	2,485	45	13,925.64	2,447	37	6,519.30	1,674	20	1,625.58	471	6
針	15,657.81	2,409	71	15,611.43	2,275	44	13,740.64	2,259	37	6,447.10	1,598	20	1,464.66	432	6
広	174.76	262		349.26	210	1	185.00	188		72.20	76		160.92	39	
総数	14,417.74	2,629	70	14,533.07	2,402	44	13,354.10	2,415	37	6,455.73	1,670	20	1,568.80	462	6
針	14,417.57	2,385	70	14,508.73	2,224	44	13,271.41	2,240	37	6,407.39	1,596	20	1,456.45	431	6
広	0.17	244		24.34	178		82.69	175		48.34	73		112.35	32	
総数	14,067.59	2,536	68	14,313.55	2,133	40	13,290.71	2,152	35	6,451.63	1,143	16	1,568.80	322	5
針	14,067.42	2,294	68	14,289.21	1,965	40	13,208.02	1,981	34	6,403.29	1,075	16	1,456.45	292	5
広	0.17	242		24.34	168		82.69	171		48.34	68		112.35	30	
総数	(382.50)			(1,805.31)			(2,193.48)			(4,612.74)			(1,442.04)		
針	(9.33)			(5.90)			(23.73)			(39.52)			(7.92)		
総数	350.15	93	2	219.52	269	3	63.39	263	2	4.10	526	3		140	1
針	350.15	92	2	219.52	259	3	63.39	259	2	4.10	522	3		139	1
広		2			10			4			5			1	
総数	1,414.83	42	1	1,427.62	84	1	571.54	31	1	63.57	4		56.78	9	
針	1,240.24	24		1,102.70	51	1	469.23	18		39.71	2		8.21	2	
広	174.59	18		324.92	32		102.31	13		23.86	3		48.57	7	
総数															
針															
広															
総数	1,414.21	41	1	1,367.16	81	1	551.89	29		53.58	4		56.78	9	
針	1,240.09	24		1,042.24	49	1	462.43	18		29.72	1		8.21	2	
広	174.12	18		324.92	32		89.46	11		23.86	3		48.57	7	
総数	0.62			60.46	2		19.65	3		9.99	1				
針	0.15			60.46	2		6.80			9.99	1				
広	0.47						12.85	2							
竹林															
無立木地															

(注) 1.人工林及び天然林で点生木のみの林分については、本表の集計には含まれていない。

2.竹林の集計値については、総計欄には含まれていない。

3.()は、人工林の育成複層林の上、中層木の面積で外書。

森林計画区:012 釧路根室

単位 面積:ha、材積:1,000m³、立竹:1,000束、成長量:1,000m³

区分	1.5 齢級			1.6 齢級			1.7 齢級			1.8 齢級			1.9 齢級		
	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量
総数	316.53	74	1	165.334.41	32.701	369	708.73	156	2	507.54	109	1	140.39	20	
総数	316.53	74	1	165.334.41	32.701	369	708.73	156	2	507.54	109	1	140.39	20	
針	309.60	70	1	66.500.48	15.777	192	577.31	134	2	497.53	101	1	117.65	17	
広	6.93	4		98.833.93	16.923	177	131.42	23		10.01	8		22.74	4	
総数	296.55	71	1	484.45	99	1	636.72	129	1	497.97	107	1	107.15	16	
針	291.62	66	1	461.43	93	1	506.20	107	1	494.41	101	1	104.05	15	
広	4.93	4		23.02	6		130.52	22		3.56	6		3.10	1	
総数	296.55	66	1	484.45	98	1	636.72	129	1	497.97	105	1	107.15	15	
針	291.62	62	1	461.43	92	1	506.20	107	1	494.41	99	1	104.05	14	
広	4.93	4		23.02	6		130.52	22		3.56	6		3.10	1	
	(63.71)			(27.74)			(3.45)			(8.12)			(8.83)		
育成		5			1						2			1	
育成		4			1						2			1	
広															
総数	19.98	3		164.849.96	32.602	368	72.01	28		9.57	2		33.24	4	
針	17.98	3		66.039.05	15.684	191	71.11	26		3.12	1		13.60	2	
広	2.00			98.810.91	16.918	177	0.90	1		6.45	1		19.64	2	
育成															
針															
広															
総数	19.98	3		11.678.19	3.640	49	72.01	28		9.57	2		33.24	4	
針	17.98	3		6.884.31	2.269	31	71.11	26		3.12	1		13.60	2	
広	2.00			4.793.88	1.371	19	0.90	1		6.45	1		19.64	2	
育成															
針															
広															
総数	153.171.77			28.962	319										
針	59.154.74			13.415	161										
広	94.017.03			15.547	159										
竹林															
無立木地															

(注) 1.人工林及び天然林で点生木のみの林分については、本表の集計には含まれていない。

2.竹林の集計値については、総計欄には含まれていない。

3.()は、人工林の育成複層林の上、中層木の面積で外書。

森林計画区:012 釧路根室

単位:面積:ha、材積:1,000m³、立竹:1,000束、成長量:1,000m³

区分	20 齢級			21 齢級以上		
	面積	材積	成長量	面積	材積	成長量
総数	87.13	19		89.08		15
総数	87.13	19		89.08		15
針	85.91	16		85.74		10
広	1.22	2		3.34		5
総数	87.13	19		85.74		15
針	85.91	16		85.74		10
広	1.22	2				5
育単	87.13	19		85.74		15
層	85.91	16		85.74		10
成	1.22	2				5
林						
育復						
層						
成						
林						
総数						
針						
広						
総数				3.34		
針						
広				3.34		
育単						
層						
成						
林						
育復						
層						
成						
林				3.34		
天然						
生						
林						
針						
広				3.34		
竹林						
無立木地						

(注) 1. 人工林及び天然林で点生木のみ林分については、本表の集計には含まれていない。

2. 竹林の集計値については、総計欄には含まれていない。

3. ()は、人工林の育成復層林の上、中層木の面積で外書。

(2) 制限林普通林別森林資源表

森林計画区:012 釧路根室

区分	立木地										無立木地等					計			
	人工林					天然林					竹林	計	伐採跡地	未立木地	改植予定地		林地以外の地		
	育成単層林	育成複層林	計	育成単層林	育成複層林	天然生林	計	計	計										
制限林	面積	針	67,086.97	10,342.84	77,429.81	17,269.73	58,810.22	76,079.95	153,509.76										
		広	438.62	2.14	440.76	5,676.75	92,369.61	98,046.36	98,487.12										
	計		67,525.59	10,344.98	77,870.57	22,946.48	151,179.83	174,126.31	251,996.88	46.40	115.01	27,131.44	27,292.85	279,289.73					
材積	針	9,906.586	1,562,708	11,469,294	2,409,291	13,286,490	15,695,781	27,165,075	17,709,800	56	457	20,558	21,015	17,730,815					
	広	1,012,196	42,013	1,054,209	1,459,159	15,196,432	16,655,591	17,709,800	457	457	20,558	21,015	17,730,815						
	計	10,918,782	1,604,721	12,523,503	3,868,450	28,482,922	32,351,372	44,874,875	44,874,875	513	513	22,044	22,044	44,896,919					
成長量	針	265,913.8	33,186.7	299,100.5	32,653.4	158,885.0	191,538.4	490,638.9	490,638.9					490,638.9					
	広	581.3	12.6	593.9	20,025.6	154,654.4	174,680.0	175,273.9	175,273.9					175,273.9					
	計	266,495.1	33,199.3	299,694.4	52,679.0	313,539.4	366,218.4	665,912.8	665,912.8					665,912.8					
普通林	面積	針	2,369.09	341.93	2,711.02	113.20	500.23	613.43	3,324.45										
		広	3.49		3.49	38.71	1,721.49	1,760.20	1,763.69										
	計	2,372.58	341.93	2,714.51	151.91	2,221.72	2,373.63	5,088.14	88.86	27.57	1,541.05	1,657.48	6,745.62						
材積	針	420,739	49,642	470,381	7,844	132,647	140,491	610,872	2,628	105	462	1,197	399,563						
	広	29,945	1,367	31,312	7,034	360,020	367,054	398,366	735	735	462	1,197	399,563						
	計	450,684	51,009	501,693	14,878	492,667	507,545	1,009,238	2,628	840	462	3,930	1,013,168						
成長量	針	10,137.3	580.0	10,717.3	120.2	1,733.5	1,853.7	12,571.0	23.7				12,594.7						
	広	1.9		1.9	95.8	4,006.4	4,102.2	4,104.1	23.7				4,104.1						
	計	10,139.2	580.0	10,719.2	216.0	5,739.9	5,955.9	16,675.1	23.7				16,698.8						
計	面積	針	69,456.06	10,684.77	80,140.83	17,382.93	59,310.45	76,693.38	156,834.21										
		広	442.11	2.14	444.25	5,715.46	94,091.10	99,806.56	100,250.81										
	計	69,898.17	10,686.91	80,585.08	23,098.39	153,401.55	176,499.94	257,085.02	135.26	142.58	28,672.49	28,950.33	286,035.35						
材積	針	10,327,325	1,612,350	11,939,675	2,417,135	13,419,137	15,836,272	27,775,947	2,628	161	973	3,762	27,779,709						
	広	1,042,141	43,380	1,085,521	1,466,193	15,556,452	17,022,645	18,108,166	2,628	1,192	21,020	22,212	18,130,378						
	計	11,369,466	1,655,730	13,025,196	3,883,328	28,975,589	32,858,917	45,884,113	2,628	1,353	21,993	25,974	45,910,087						
成長量	針	276,051.1	33,766.7	309,817.8	32,773.6	160,618.5	193,392.1	503,209.9	23.7				503,233.6						
	広	583.2	12.6	595.8	20,121.4	158,660.8	178,782.2	179,378.0	23.7				179,378.0						
	計	276,634.3	33,779.3	310,413.6	52,895.0	319,279.3	372,174.3	682,587.9	23.7				682,611.6						

単位:面積:ha,材積:m³,成長量:m³/年

(注) 1.人工林及び天然林で点生木のみ其林分の面積については、本表の集計には含まれていない。
 2.竹林の集計値については、総計欄には含まれていない。

(3) 市町村別森林資源表

森林計画区:012 釧路根室

市町村	区分	立木地										無立木地等					計									
		人工林					天然林					竹林	計	伐採跡地	未立木地	改植予定地		林地以外 の土地	計							
		育成単層林	育成複層林	計	育成単層林	育成複層林	天然生林	計																		
釧路市	面積	針	4,949.11	207.85	5,156.96	5,474.39	16,502.14	21,976.53																		
		広	6.28		6.28	853.21	10,867.54	11,720.75																		
	材積	針	4,955.39	207.85	5,163.24	6,327.60	27,369.68	33,697.28																		
		広	893.381	24,742	918,123	1,027,712	4,542,693	5,570,405																		
	成長量	針	70,493	2,276	72,769	329,937	2,553,950	2,883,887																		
		広	963,874	27,018	990,892	1,357,649	7,096,643	8,454,292																		
根室市	面積	針	24,258.1	394.1	24,652.2	11,260.1	44,125.0	55,385.1																		
		広	8.5		8.5	4,298.8	27,276.8	31,575.6																		
	材積	針	24,266.6	394.1	24,660.7	15,558.9	71,401.8	86,960.7																		
		広	1,738.37	42.33	1,780.70	361.06	2,484.11	2,845.17																		
	成長量	針	0.50		0.50	29.88	1,134.46	1,164.34																		
		広	1,738.87	42.33	1,781.20	390.94	3,618.57	4,009.51																		
釧路町	面積	針	315,579	3,752	319,331	55,336	655,925	711,261																		
		広	33,192		33,192	11,084	225,437	236,521																		
	材積	針	348,771	3,752	352,523	66,420	881,362	947,782																		
		広	9,053.5	22.6	9,076.1	1,107.6	9,561.6	10,669.2																		
	成長量	針	12.0		12.0	219.2	3,584.0	3,803.2																		
		広	9,065.5	22.6	9,088.1	1,326.8	13,145.6	14,472.4																		
厚岸町	面積	針	1,520.83		1,520.83	235.19	1,748.41	1,983.60																		
		広				69.89	2,576.03	2,645.92																		
	材積	針	1,520.83		1,520.83	305.08	4,324.44	4,629.52																		
		広	192,788		192,788	16,379	531,126	547,505																		
	成長量	針	23,258		23,258	31,593	698,056	729,649																		
		広	7,117.7		7,117.7	444.1	9,495.5	9,939.6																		
釧路市	面積	針	7,117.7		7,117.7	776.8	18,287.2	19,064.0																		
		広	6,207.68	1,847.98	8,055.66	796.85	923.20	1,720.05																		
	材積	針	57.83	2.14	59.97	256.40	1,407.70	1,664.10																		
		広	6,265.51	1,850.12	8,115.63	1,053.25	2,330.90	3,384.15																		
	成長量	針	921,060	308,155	1,229,215	87,382	238,686	326,068																		
		広	85,493	8,954	94,447	67,566	251,822	319,388																		
釧路市	面積	針	1,006,553	317,109	1,323,662	154,948	490,508	645,456																		
		広	14,285.7	8,514.0	22,799.7	1,891.4	4,779.1	6,670.5																		
	材積	針	70.6	11.0	81.6	1,165.1	3,722.0	4,887.1																		
		広	14,356.3	8,525.0	22,881.3	3,056.5	8,501.1	11,557.6																		
	成長量	針																								
		広																								

(注) 1.人工林及び天然林で点生木のみの林分の面積については、本表の集計には含まれていない。

2.竹林の集計値については、総計欄には含まれていない。

森林計画区:012 釧路根室

市町村	区分	立木地										無立木地等					計		
		人工林					天然林					伐採跡地未立木地	改植 予定地	林地以外 の土地	計				
		育成単層林	育成複層林	計	育成単層林	育成複層林	天然生林	計	竹林	計									
浜中町	面積	針	444.50	13.86	458.36	154.00	61.37	215.37				673.73							
		広	0.46		0.46	33.45	256.81	290.26				290.72							
		計	444.96	13.86	458.82	187.45	318.18	505.63				964.45			56.34			1,020.79	
	材積	針	83.313	835	84,148	1,878	767	2,645				86,793							86,793
		広	8,940		8,940	14,125	30,321	44,446				53,386							53,386
		計	92,253	835	93,088	16,003	31,088	47,091				140,179							140,179
成長量	針	2,991.8	5.0	2,996.8	37.0	14.9	51.9				3,048.7							3,048.7	
	広				223.6	476.1	699.7				699.7							699.7	
	計	2,991.8	5.0	2,996.8	260.6	491.0	751.6				3,748.4							3,748.4	
標茶町	面積	針	13,040.13	2,473.84	15,513.97	516.60	516.24	1,032.84				16,546.81							
		広	104.13		104.13	397.78	5,685.77	6,083.55				6,187.68							
		計	13,144.26	2,473.84	15,618.10	914.38	6,202.01	7,116.39				22,734.49			1,638.70			24,380.59	
	材積	針	1,719,552	380,776	2,100,328	60,886	83,697	144,583				2,244,911							2,244,911
		広	202,048	11,533	213,581	68,630	635,873	704,503				918,084			3,343				921,427
		計	1,921,600	392,309	2,313,909	129,516	719,570	849,086				3,162,995			3,343				3,166,338
成長量	針	44,561.6	7,649.0	52,210.6	774.8	1,601.0	2,375.8				54,586.4							54,586.4	
	広	140.6		140.6	1,081.6	8,437.6	9,519.2				9,659.8							9,659.8	
	計	44,702.2	7,649.0	52,351.2	1,856.4	10,038.6	11,895.0				64,246.2							64,246.2	
弟子屈町	面積	針	11,554.27	927.08	12,481.35	3,577.66	8,276.75	11,854.41				24,335.76							
		広	235.89		235.89	1,628.11	11,695.18	13,323.29				13,559.18							
		計	11,790.16	927.08	12,717.24	5,205.77	19,971.93	25,177.70				37,894.94			4,517.89			42,426.84	
	材積	針	2,044,998	135,364	2,180,362	426,035	1,728,640	2,154,675				4,335,037			880				4,335,917
		広	116,031	2,606	118,637	361,809	1,953,223	2,315,032				2,433,669			3,708				2,437,377
		計	2,161,029	137,970	2,298,999	787,844	3,681,863	4,469,707				6,768,706			4,588				6,773,294
成長量	針	54,642.6	2,528.1	57,170.7	5,736.0	21,036.0	26,772.0				83,942.7							83,942.7	
	広	306.5	1.4	307.9	3,998.5	18,171.7	22,170.2				22,478.1							22,478.1	
	計	54,949.1	2,529.5	57,478.6	9,734.5	39,207.7	48,942.2				106,420.8							106,420.8	
鶴居村	面積	針	5,981.43	680.97	6,662.40	120.20	568.98	689.18				7,351.58							
		広	15.83		15.83	202.96	5,146.13	5,349.09				5,364.92							
		計	5,997.26	680.97	6,678.23	323.16	5,715.11	6,038.27				12,716.50			844.74			13,561.24	
	材積	針	787,889	73,573	861,462	4,725	108,269	112,994				974,456							974,456
		広	43,765	1,662	45,427	25,248	647,200	717,448				717,875							717,875
		計	831,654	75,235	906,889	29,973	755,469	785,442				1,692,331							1,692,331
成長量	針	22,675.2	644.8	23,320.0	91.8	1,196.6	1,288.4				24,608.4							24,608.4	
	広	17.6		17.6	407.1	6,660.9	7,068.0				7,085.6							7,085.6	
	計	22,692.8	644.8	23,337.6	498.9	7,857.5	8,356.4				31,694.0							31,694.0	

(注) 1.人工林及び天然林で点生木のみの林分の面積については、本表の集計には含まれていない。
 2.竹林の集計値については、総計欄には含まれていない。

森林計画区:012 鋸路根室

市町村	区分	立木地										無立木地等					計					
		人工林					天然林					竹林	計	伐採跡地	未立木地	改植予定地		林地以外の土地	計			
		育成単層林	育成複層林	計	育成単層林	育成複層林	天然林	計														
白糠町	面積	針	5,884.31		5,884.31	3,046.71	12,527.01	15,573.72				21,458.03										
		広	10.13		10.13	1,078.56	13,286.57	14,365.13				14,375.26										
		計	5,894.44		5,894.44	4,125.27	25,813.58	29,938.85				35,833.29			909.05							36,742.34
	材積	針	1,120,904		1,120,904	562,746	3,351,059	3,913,805				5,034,709										5,034,709
		広	61,103		61,103	321,214	3,363,522	3,684,736				3,745,839										3,745,839
		計	1,182,007		1,182,007	883,960	6,714,581	7,598,541				8,780,548										8,780,548
	成長量	針	29,950.3		29,950.3	8,573.2	47,840.0	56,413.2				86,363.5										86,363.5
		広	16.8		16.8	4,607.0	39,770.0	44,377.0				44,393.8										44,393.8
		計	29,967.1		29,967.1	13,180.2	87,610.0	100,790.2				130,757.3										130,757.3
	別海町	面積	針	2,627.68	1,475.76	4,103.44	209.09	63.99	273.08				4,376.52									
広			2.10		2.10	71.23	1,005.16	1,076.39				1,076.49										
計			2,629.78	1,475.76	4,105.54	280.32	1,069.15	1,349.47	5,455.01			5,455.01			727.73							6,260.68
材積		針	321,620	182,863	504,483	4,024	11,986	16,010				520,493										2,665
		広	42,876	6,186	49,062	19,623	140,483	160,106				209,168										19
		計	364,496	189,049	553,545	23,647	152,469	176,116	729,661			2,628										2,684
成長量		針	6,737.8	3,058.8	9,796.6	89.0	230.2	319.2				10,115.8										23.7
		広	1.8		1.8	344.5	2,482.0	2,826.5				2,828.3										
		計	6,739.6	3,058.8	9,798.4	433.5	2,712.2	3,145.7	12,944.1			23.7										23.7
中標津町		面積	針	8,894.40	2,884.84	11,779.24	1,073.63	930.82	2,004.45				13,783.69									
	広		6.76		6.76	264.90	9,960.68	10,225.58				10,232.34										
	計		8,901.16	2,884.84	11,786.00	1,338.53	10,891.50	12,230.03	24,016.03			1.94			1,434.80							1,466.98
	材積	針	1,102,000	480,772	1,582,772	31,265	104,053	135,318				1,718,090										105
		広	125,849	8,667	134,516	70,693	1,041,519	1,112,212	1,246,728			735										735
		計	1,227,849	489,439	1,717,288	101,958	1,145,572	1,247,530	2,964,818			840										840
	成長量	針	31,735.0	10,749.9	42,484.9	526.0	725.2	1,251.2				43,736.1										
		広	8.8	0.2	9.0	946.7	8,078.9	9,025.6	9,034.6													
		計	31,743.8	10,750.1	42,493.9	1,472.7	8,804.1	10,276.8	52,770.7													
	標津町	面積	針	5,614.84	130.26	5,745.10	700.50	14,622.90	15,323.40				15,323.40									
広																						
計			5,614.84	130.26	5,745.10	700.50	14,622.90	15,323.40	15,323.40													
材積		針	685,474	21,518	706,992	131,250	1,021,757	1,153,007				1,859,999										7
		広	204,561	1,496	206,057	121,933	1,892,589	2,014,522	2,220,579			11										11
		計	890,035	23,014	913,049	253,183	2,914,346	3,167,529	4,080,578			18										18
成長量		針	22,234.3	200.4	22,434.7	2,196.5	9,894.8	12,091.3				34,526.0										
		広				2,009.2	14,690.8	16,700.0	16,700.0													
		計	22,234.3	200.4	22,434.7	4,205.7	24,585.6	28,791.3	51,226.0													

(注) 1.人工林及び天然林で点生木のみの林分の面積については、本表の集計には含まれていない。

2.竹林の集計値については、総計欄には含まれていない。

森林計画区:012 剣路根室

市町村	区分	立木地										無立木地等					計			
		人工林					天然林					伐採跡地	未立木地	改植 予定地	林地以外 の土地	計				
		育成単層林	育成複層林	計	育成単層林	育成複層林	天然生林	計	計											
羅白町	面積	針	998.51		998.51		272.57	6,984.45	7,257.02			8,255.53								
		広	2.20		2.20		128.59	16,446.17	16,574.76			16,576.96								
		計	1,000.71		1,000.71		401.16	23,430.62	23,831.78			24,832.49			10,092.11	10,092.11			34,924.60	
	材積	針	138,767		138,767		7,517	1,040,479	1,047,996			1,186,763								1,186,763
		広	24,532		24,532		22,738	2,122,457	2,145,195			2,169,727								2,169,727
		計	163,299		163,299		30,255	3,162,936	3,193,191			3,356,490								3,356,490
成長量	針	5,807.5		5,807.5		157.5	10,822.4	10,979.9			16,787.4								16,787.4	
	広					376.0	15,814.5	16,190.5			16,190.5								16,190.5	
	計	5,807.5		5,807.5		533.5	26,636.9	27,170.4			32,977.9								32,977.9	
森林計画計	面積	針	69,456.06	10,684.77	80,140.83		17,382.93	59,310.45	76,693.38			156,834.21								
		広	442.11		444.25		5,715.46	94,091.10	99,806.56			100,250.81								
		計	69,898.17	10,686.91	80,585.08		23,098.39	153,401.55	176,499.94			257,085.02			28,672.49	28,950.33			286,035.35	
	材積	針	10,327,325	1,612,350	11,939,675		2,417,135	13,419,137	15,836,272			27,775,947			973	3,762				27,779,709
		広	1,042,141	43,380	1,085,521		1,466,193	15,556,452	17,022,645			18,108,166			21,020	22,212				18,130,378
		計	11,369,466	1,655,730	13,025,196		3,883,328	28,975,589	32,858,917			45,884,113			21,993	25,974				45,910,087
成長量	針	276,051.1	33,766.7	309,817.8		32,773.6	160,618.5	193,392.1			503,209.9			23.7	23.7				503,233.6	
	広	583.2	12.6	595.8		20,121.4	158,660.8	178,782.2			179,378.0								179,378.0	
	計	276,634.3	33,779.3	310,413.6		52,895.0	319,279.3	372,174.3			682,587.9			23.7	23.7				682,611.6	

(注) 1.人工林及び天然林で点生木のみの林分の面積については、本表の集計には含まれていない。

2.竹林の集計値については、総計欄には含まれていない。

(4) 制限林の種類別面積

森林計画区:012 釧路根室

単位:ha

区分	市町村											
	釧路市	根室市	釧路町	厚岸町	浜中町	檜赤町	釧路市	根室市	釧路町	厚岸町	浜中町	檜赤町
水源かん養保安林	37,051.20		3,654.59									
土砂流出防護保安林	1,058.36											
土砂崩壊防護保安林			652.66									
飛砂防護保安林												
防風保安林		19.10							356.00			386.09
水害防護保安林												
潮害防護保安林												
干害防護保安林			470.95									
防雪保安林												
防霧保安林	6,213.66		1,487.89							1,018.66		
なだれ防止保安林												
落石防止保安林												
防火保安林												
魚つき保安林		(318.94)						(463.91)				
航行目標保安林												
保健保安林	(4,173.31)	(286.17)						(642.81)		(866.35)		
風致保安林	(270.62)											
計	(4,443.93)	(605.11)	6,308.99					(1,106.72)	6,266.09	(866.35)	13,408.66	24,225.52
保安施設地区												
砂防指定地			24.15									
特別保護地区	(4,746.08)		366.58									
第一種特別地域	(928.26)		8.36									(853.50)
第二種特別地域	(7,071.74)		68.43									
第三種特別地域	(3,632.03)		69.09									0.12
地種区分未定地域												
計	(16,378.11)		512.46									0.12
特別保護地区									(253.04)			
第一種特別地域								(547.15)	18.37			
第二種特別地域								(1,028.73)	28.46			
第三種特別地域												
地種区分未定地域												
計								(1,575.88)	46.83		(478.43)	
第一種特別地域												
第二種特別地域												
第三種特別地域		(440.45)	1.04									
地種区分未定地域												
計		(440.45)	1.04									
原生自然環境保全地域												
自然環境保全地域特別地区												
都道府県自然環境保全地域特別地区		(23.34)										
鳥獣保護区特別保護地区	12.42	(41.35)	(30.75)						(478.43)			
緑地保全地区												
風致地区												
特別母樹林												
史跡名勝天然記念物		(23.34)										
種の保存法による管理地区												
その他												
合計	(20,822.04)	38,698.69	(1,133.59)	6,310.03	(2,713.35)	6,312.92	13,408.66	(1,827.00)	24,225.64			

(注) () 書の数値は重複制限林で外数である。

区分	市町村						合計
	弟子屈町	鶴居村	白糠町	別海町	中標津町	標津町	
水源かん養保安林	34,146.67	13,500.45	26,294.70		20,570.83		27,133.71
土砂流出防備保安林	1,374.13	60.57	10,022.44		998.32		3,262.24
土砂崩壊防備保安林	41.07		7.47				
飛砂防備保安林							
防風保安林	30.99			4,948.33	3,255.97		593.82
水害防備保安林							
潮害防備保安林							
干害防備保安林					276.81		915.34
防雪保安林							
防霧保安林							
なだれ防止保安林							
落石防止保安林							
防火保安林				228.60			
魚つき保安林							
航行目標保安林	3,492.40		(319.45)		(394.19)		
保健保安林	565.20		(0.30)				
風致保安林	39,650.46	13,561.02	36,324.61	5,176.93	(394.19)	25,101.93	31,905.11
保安施設地区							
砂防指定地			6.79			(3.07)	17.46
特別保護地区	(1,852.49)		(178.32)				
第一種特別地域	(4,907.52)				(535.57)	0.94	
第二種特別地域	(8,958.54)		(383.72)				
第三種特別地域	(10,253.14)						
地種区分未定地域							
計	(25,971.69)		(562.04)		(535.57)	0.94	
特別保護地区							
第一種特別地域							
第二種特別地域							
第三種特別地域							
地種区分未定地域							
計							
都				(228.60)		161.62	(461.12)
道							
府							
県							(355.07)
地種区分未定地域							
計				(228.60)		161.62	(816.19)
原生自然環境保全地域							
自然環境保全地域特別地区							
都道府県自然環境保全地域特別地区							
鳥獣保護区特別保護地区	(69.30)		0.54	(301.39)		76.55	
緑地保全地区			(74.02)				
風致地区							
特別母樹林							
史跡名勝天然記念物							
種の保存法による管理地区							
その他							
合計	(26,040.99)	13,561.02	36,331.94	(529.99)	5,338.55	(929.76)	25,179.42
(注) () 書の数値は重複制限林で外数である。							(819.26)
							31,922.57

森林計画区:012 剣路根室

単位:ha

区分	市町村		合計
	羅臼町	市町村	
水源かん養保安林	5,645.48		204,889.72
土砂流出防備保安林	27,550.88		44,326.94
土砂崩壊防備保安林	322.00		1,023.20
飛砂防備保安林			
防風保安林			9,590.30
水害防備保安林			
潮害防備保安林			
干害防備保安林	421.08		2,084.18
防雪保安林			
防霧保安林			8,720.21
なだれ防止保安林			
落石防止保安林			
防火保安林			
魚つき保安林		(782.85)	302.63
航行目標保安林			
保健保安林	(3,824.17)	(10,506.45)	3,494.60
風致保安林		(270.92)	605.30
計	(3,824.17)	33,939.44	(11,560.22) 275,037.08
保安施設地区			
保安施設地区			
砂防指定地	(23.66)	51.55	(26.98) 99.95
特別保護地区	(8,389.27)	47.62	(15,166.16) 2,438.51
第一種特別地域	(1,601.92)	2.91	(8,826.77) 123.46
第二種特別地域	(852.99)	12.46	(17,266.99) 208.06
第三種特別地域	(4,500.95)	3.36	(19,359.62) 241.01
地種区分未定地域			
計	(15,345.13)	66.35	(60,619.54) 3,011.04
特別保護地区			(253.04)
第一種特別地域			(225.39)
第二種特別地域			(547.15) 18.37
第三種特別地域			(1,028.73) 28.46
地種区分未定地域			
計			(2,054.31) 46.83
都			(689.72) 161.62
道			
府			(795.62) 1.04
県			
立			
計			(1,485.24) 162.66
原生自然環境保全地域		849.91	849.91
自然環境保全地域特別地区			
都道府県自然環境保全地域特別地区			(23.34)
鳥獣保護区特別保護地区	(8,436.89)		(9,432.13) 89.51
緑地保全地区			
風致地区			
特別母樹林			
史跡名勝天然記念物			(23.34)
種の保存法による管理地区			
その他			
合計	(27,629.85)	34,907.25	(85,225.10) 279,296.98

(注) () 書の数値は重複制限林で外数である。

(5) 樹種別材積表

単位:m³

		人工林	天然林	無立木地	その他	計
針葉樹	カラマツ	3,381,787	15,440	2,665		3,399,892
	グイF1	1,477				
	アカマツ		75			75
	トドマツ	6,031,875	9,073,585	113		15,105,573
	エゾマツ	2,447,562	6,615,251	11		9,062,824
	他針葉樹	76,348	131,921		973	209,242
	小計	11,939,049	15,836,272	2,789	973	27,779,083
広葉樹	ナラ類	121,960	1,770,391			1,892,351
	カンバ類	553,067	5,869,665	463		6,423,195
	カエデ類	4,128	25,298			29,426
	シナノキ	2,005	1,874,057			1,876,062
	タモ類	33,520	104,203			137,723
	他広葉樹	370,841	7,379,031	729	21,020	7,771,621
	小計	1,085,521	17,022,645	1,192	21,020	18,130,378
合計	13,024,570	32,858,917	3,981	21,993	45,909,461	

(6) 荒廃地等の面積

単位:ha

市町村名	荒廃地
釧路市	128.48
根室市	-
釧路町	0.66
厚岸町	28.22
浜中町	-
標茶町	17.31
弟子屈町	8.12
鶴居村	-
白糠町	0.28
別海町	-
中標津町	0.20
標津町	0.92
羅臼町	8.95
計	193.14

(7) 森林の被害

単位:ha

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
総数	14	26	17

注) 北海道森林管理局事業統計書による。

3 林業の動向

(1) 森林組合及び生産森林組合の現況

ア 構成

振興局	組合名	市町村 (地区)	組合員数 (人)	組合員所有 森林面積 (ha)
釧路総合振興局	標茶町森林組合	標茶町	3,060	83,582
	鶴居村森林組合	鶴居村		
	厚岸町森林組合	厚岸町		
		浜中町		
	弟子屈町森林組合	釧路町		
		弟子屈町		
	くしろ西森林組合	釧路市 (旧音別町)		
		白糠町		
	釧路東森林組合	釧路町		
		浜中町		
		厚岸町		
		鶴居村 釧路市 (旧釧路市)		
根室振興局	別海町森林組合	別海町		
		根室市		
		中標津町		
		標津町		
	中標津町森林組合	羅臼町		
		別海町		
		中標津町		
	標津町森林組合	標津町		
		羅臼町		
		中標津町		
別海町				

注) 森林組合現況調査一覧(令和元年度)による。

(2) 林業事業体等の現況

単位:事業体

市町村	造林業	素材 生産業	木材・木製品製造業					計	
			製材	チップ	合単板	フローリング*	集成材		プレカット
総 数	(27) 33	(32) 37	19	(15) 17	2	1	1	0	(72) 110
釧 路 市	(7) 8	(9) 10	2	(2) 2					(18) 22
根 室 市	(1) 1	(1) 1	3	(3) 3					(5) 8
釧 路 町	(2) 2	(4) 4	1	(1) 1					(7) 8
厚 岸 町	(2) 3	(3) 3	1	(1) 1			1		(6) 9
浜 中 町	(1) 1	(1) 1	4	(3) 4					(5) 10
標 茶 町	(2) 3	1	1						(2) 5
弟子屈町	(1) 2	(4) 5	1						(5) 8
鶴 居 村	(1) 2	(1) 2		1					5
白 糠 町	(5) 5	(4) 4	2	(1) 1	2	1			(10) 15
別 海 町	1	1							0 2
中標津町	(2) 2	(4) 4	4	(4) 4					(10) 14
標 津 町	(1) 1	(1) 1							(2) 2
羅 臼 町	(2) 2								(2) 2

注1) 北海道水産林務部林務局林業木材課調べによる。

造林業及び素材生産業は令和2年度実績、木材・木製品製造業は平成27年度実績。

注2) 造林業及び素材生産業上段の()は、森林組合を除いた事業体数の内数。

注3) チップ上段の()は、製材工場との兼業で内数。

(3) 林業労働力の概況

単位:人

	総就労者	林業 就労者
S55年	194,082	2,574
S60年	191,707	2,205
H 2年	189,254	1,621
H 7年	172,254	1,322
H12年	181,858	926
H17年	167,784	670
H22年	155,547	620
H27年	148,418	592

注) 平成27年国勢調査報告による。

(4) 林業機械化の概況

単位 台数:台

機 械 種 名		台数	説 明
索 道	重 量 式	-	素材の自重を利用して移送するもの
	動 力 式	-	動力を持って移動するもの
集 材 機	小 型	1	10PS未満のもの
	大 型	4	10PS以上のもの
モノケール		-	ジグザグ集材施設
リモコンウインチ		9	遠隔操作による小型可搬式木寄せ機
自走式搬器		-	架線上を走行し素材の巻き上げ及び移送を行う搬器
モノレール		4	跨座式及び懸垂式
小 型 運 材 車		-	20PS未満のもの
		19	20PS以上のもの
ホイールタイプトラクタ		2	素材等を牽引して集材等の作業に用いる(車輪式のもの)
クローラタイプトラクタ		15	ホイールトラクタと同じ作業に用いる(履带式のもの)
育 林 用 ト ラ ク タ		-	主として地拵え等の育林作業に用いる
フ ォ ー ク リ フ ト		2	素材を所定の高さへ積み込み、巻立等の作業を行う
フ ォ ー ク ロ ー ダ		13	土場等で素材の積み込み、巻立等の作業を行う
ク レ ーン	運材機能なし	2	素材等の吊り上げ、積み込み、巻立等の作業のみを行うもの (トラッククレーン、ホイールクレーン、クローラクレーン)
	運材機能あり	4	クレーン作業と木材運搬を行うもの (クレーン付きトラック)
グ ラ ッ プ ル	運材機能なし	43	クレーンの先端部に材をつかむグラップルを装備 (グラップルローダ作業車)
	運材機能あり	4	グラップルローダによる作業と木材の運搬を行うもの (グラップルローダ付きトラック)
ト ラ ク タ シ ョ ベ ル		10	木材の搬出、育林作業等に係る土木用のもの
シ ョ ベ ル 系 掘 削 機 械		31	木材の搬出、育林作業等に係る土木用のもの (バックホウ、パワーショベル等)
チ ェ ー ソ ー		170	伐倒、枝払い、造材作業、育林作業等に用いる
チェーンソーリモコン装置付		-	リモコンチェーンソー架台
刈 払 機		177	地拵え、下刈等に用いるもの(携帯式のもの)
植 穴 掘 機		1	苗木を林地に植栽するのに用いるもの
動 力 枝 打 機	自動木登り式	1	自動木登り式のもの
	背負い式等	-	背負い式等の上記以外のもの
苗 畑 用 ト ラ ク タ		12	苗畑において、耕うん、整地等に用いる
フ ェ ラ ー バ ン チ ャ		24	立木を伐倒、集積する自走式機械
ス キ ッ ダ		-	牽引式集材専用のトラクタ
プ ロ セ ッ サ		17	枝払い、玉切りする自走式機械
ハ ー ベ ス タ		33	伐倒、枝払い、玉切りする自走式機械
フ ォ ワ ー ダ		10	積載式集材専用車両
タ ワ ー ヤ ー ダ		-	元柱を具備した自走式集材機械
グ ラ ッ プ ル ソ ー		8	巻立、玉切りする自走式機械
樹 木 粉 砕 機		5	伐倒木、伐根、枝条等を粉砕する機械

注) 北海道水産林務部林務局林業木材課調べ(令和2年3月31日現在)による。

4 前期計画の実行状況

(1) 間伐立木材積その他の伐採立木材積

単位 材積:千m³

区分	伐採立木材積								
	計画			実行			実行歩合		
	主伐	間伐	総数	主伐	間伐	総数	主伐	間伐	総数
総数	372	950	1,322	224	795	1,019	60%	84%	77%
針葉樹	340	883	1,223	204	704	908	85%	80%	74%
広葉樹	32	67	99	21	91	112	64%	136%	113%

注1) 計画及び実行の数値は、前計画の前期分(H29～R3年度)である。

2) 総数は四捨五入のため必ずしも一致しない。

(2) 間伐面積

単位 面積:ha

計画	実行	実行歩合
20,719	15,836	76%

注1) 計画及び実行の数値は、前計画の前期分(H29～R3年度)である。

(3) 人工造林・天然更新別面積

単位 面積:ha

総数			人工造林			天然更新		
計画	実行	実行歩合	計画	実行	実行歩合	計画	実行	実行歩合
2,781	2,681	96%	2,770	2,545	92%	11	136	1292%

注1) 計画及び実行の数値は、前計画の前期分(H29～R3年度)である。

2) 総数は四捨五入のため必ずしも一致しない。

(4) 林道の開設及び拡張の数量

単位 延長:km

区分	開設延長			拡張箇所数		
	計画	実行	実行歩合	計画	実行	実行歩合
基幹路網	32	22	69%	4箇所	0	39%
うち林業専用道	-	22	-	-	-	-

注1) 計画及び実行の数値は、前計画の前期分(H29～R3年度)である。

(5) 保安林の整備及び治山事業に関する計画

ア 保安林の種類別の面積

単位 面積:ha

種類	指定			解除		
	計画	実行	実行歩合	計画	実行	実行歩合
総数	-	-	-	-	2.71	-
水源かん養	-	-	-	-	0.12	-
土砂流出防備	-	-	-	-	0.11	-
土砂崩壊防備	-	-	-	-	2.14	-
防風	-	-	-	-	0.33	-

注) 計画及び実行の数値は、前計画の前期分(H29~R3年度)である。

イ 保安施設地区の面積

該当なし

ウ 治山事業の数量

主な工種	計画	実行	実行歩合
溪間工(箇所)	10	12	120%
山腹工(箇所)	7	7	100%
植栽工(ha)	61	13	22%
本数調整伐(ha)	30	20	67%

注) 計画及び実行の数値は、前計画の前期分(H29~R3年度)である。

5 林地の異動状況(森林計画対象森林)

(1) 森林より森林以外への異動

単位 面積:ha

農用地	ゴルフ場等 レジャー施設 用	住宅、別荘、 工場等建物 敷地及び その附帯地	採石採土地	その他	合計
-	-	-	-	20	20

注) その他の主な内訳は所管換え及び売り払いである。

(2) 森林以外より森林への異動

該当なし

6 森林資源の推移

(1) 分期別伐採立木材積等

単位 面積:ha、材積:1,000m³

分 期		I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	
伐採立木材積	総 数	総 数	1,798	1,937	1,968	1,893	1,765	1,621	1,513	1,480
		針葉樹	1,645	1,772	1,801	1,732	1,615	1,483	1,384	1,354
		広葉樹	153	165	167	161	150	138	129	126
	主 伐	総 数	437	543	630	661	631	541	472	440
		針葉樹	397	494	574	603	575	494	430	401
		広葉樹	39	48	56	58	56	48	42	39
	間 伐	総 数	1,361	1,395	1,339	1,232	1,135	1,079	1,041	1,039
		針葉樹	1,247	1,278	1,227	1,130	1,040	989	954	953
		広葉樹	114	116	112	103	95	90	87	87
造林面積	総 数	2,961	3,805	4,603	4,318	3,838	2,849	2,273	1,541	
	人 工 造 林	2,958	3,456	3,828	3,473	2,663	1,845	1,302	883	
	天 然 更 新	3	349	775	845	1,176	1,005	971	658	

注) 計は四捨五入のため必ずしも一致しない。

(2) 分期別期首資源表

單位 面積:ha、材積:千m³

區 分	總數	面 積											材 積
		1・2	3・4	5・6	7・8	9・10	11・12	13・14	15・16	17・18	19・20	21齡級以上	
		齡級	齡級	齡級	齡級	齡級	齡級	齡級	齡級	齡級	齡級	齡級	
第 I 分期	總數	257,020	1,999	3,011	12,519	27,492	32,116	11,775	165,700	1,223	233	86	45,882
	總數	80,524	988	906	8,769	24,171	30,117	11,655	836	1,142	200	86	13,026
	育成單層林	69,889	107	293	7,715	23,783	27,604	8,020	781	1,135	194	86	11,370
	育成複層林	10,635	881	613	1,054	388	2,513	3,635	55	7	5	0	1,656
天然林	總數	176,496	11	210	3,750	3,322	1,999	120	164,864	82	33	0	32,856
	總數	0											
	育成單層林	23,115	4	161	3,726	3,268	1,919	110	11,713	82	33		3,888
	育成複層林	153,381	8	49	23	54	80	10	153,151				28,968

區 分	總數	面 積											材 積	
		1・2	3・4	5・6	7・8	9・10	11・12	13・14	15・16	17・18	19・20	21齡級以上		
		齡級	齡級	齡級	齡級	齡級	齡級	齡級	齡級	齡級	齡級	齡級		
第 II 分期	總數	257,020	4,204	1,566	1,195	6,208	20,071	31,250	22,968	2,745	166,056	635	123	47,191
	總數	79,842	4,193	1,541	492	2,405	16,532	28,108	22,094	2,641	1,128	586	121	13,207
	育成單層林	66,094	237	120	134	1,415	16,028	26,583	18,024	1,746	1,110	576	121	11,293
	育成複層林	13,748	3,956	1,421	358	990	504	1,525	4,070	894	19	10		1,914
天然林	總數	177,178	11	25	703	3,803	3,539	3,142	874	104	164,928	49	2	33,984
	總數	0												
	育成單層林	23,815	4	25	648	3,799	3,466	3,081	844	104	11,794	49	2	4,172
	育成複層林	153,363	8	55	3	73	61	30	153,133					29,812

區 分	總數	面 積											材 積	
		1・2	3・4	5・6	7・8	9・10	11・12	13・14	15・16	17・18	19・20	21齡級以上		
		齡級	齡級	齡級	齡級	齡級	齡級	齡級	齡級	齡級	齡級	齡級		
第 III 分期	總數	257,020	6,768	1,666	1,193	3,011	12,394	26,946	28,756	9,180	165,666	1,176	264	47,961
	總數	78,781	6,768	1,655	982	906	8,575	22,825	26,166	8,820	785	1,072	226	12,812
	育成單層林	63,392	218	170	102	293	7,574	22,483	24,085	6,423	753	1,068	223	11,080
	育成複層林	15,389	6,550	1,485	881	613	1,001	341	2,081	2,397	32	4	3	1,732
天然林	總數	178,240	0	11	210	2,105	3,819	4,121	2,590	359	164,881	104	38	35,149
	總數	0												
	育成單層林	24,877		4	161	2,100	3,796	4,067	2,510	349	11,747	104	38	4,474
	育成複層林	153,363		8	49	5	23	54	80	101	153,133			30,675

单位 面積:ha、材積:千m³

区	分	面											材積	
		総数	1・2	3・4	5・6	7・8	9・10	11・12	13・14	15・16	17・18	19・20		21
			齡級	齡級	齡級	齡級	齡級	齡級	齡級	齡級	齡級	齡級		齡級以上
第IV分期	総数	257,020	7,284	4,204	1,566	1,195	6,149	20,918	29,562	17,327	2,077	166,004	734	48,164
	育成単層林	77,321	7,284	4,193	1,541	492	2,329	16,030	25,802	16,015	1,911	1,054	670	12,129
	育成複層林	59,936	229	237	120	134	1,401	15,631	24,697	14,174	1,599	1,048	666	10,617
天然林	総数	17,384	7,055	3,956	1,421	358	928	399	1,105	1,840	311	6	4	1,512
	育成単層林	179,700	0	11	25	703	3,820	4,888	3,759	1,312	167	164,950	65	36,034
	育成複層林	0												
天然林		26,337	648	4	25	55	3,817	4,815	3,698	1,282	167	11,816	65	4,771
天然生林		153,363	8	8			3	73	61	30	153,133		31,263	

区	分	面											材積	
		総数	1・2	3・4	5・6	7・8	9・10	11・12	13・14	15・16	17・18	19・20		21
			齡級	齡級	齡級	齡級	齡級	齡級	齡級	齡級	齡級	齡級		齡級以上
第V分期	総数	257,020	7,301	6,768	1,666	1,193	2,968	13,563	26,532	23,191	6,814	165,617	1,408	47,849
	育成単層林	75,838	7,301	6,768	1,655	982	856	8,195	21,760	20,091	6,268	721	1,239	11,257
	育成複層林	56,485	303	218	170	102	290	7,403	21,519	19,102	5,434	710	1,237	9,960
天然林	総数	19,353	6,998	6,550	1,485	881	567	793	242	990	834	11	2	1,297
	育成単層林	181,182	0	0	11	210	2,111	5,368	4,772	3,100	546	164,896	168	36,592
	育成複層林	0												
天然林		27,819	4	4	4	161	2,106	5,345	4,718	3,020	536	11,763	168	5,035
天然生林		153,363	8	8		49	5	23	54	80	101	153,133		31,557

区	分	面											材積	
		総数	1・2	3・4	5・6	7・8	9・10	11・12	13・14	15・16	17・18	19・20		21
			齡級	齡級	齡級	齡級	齡級	齡級	齡級	齡級	齡級	齡級		齡級以上
第VI分期	総数	257,020	6,136	7,284	4,204	1,566	1,175	7,513	21,087	25,404	14,103	1,835	166,713	47,565
	育成単層林	74,071	6,136	7,284	4,193	1,541	470	2,103	15,431	21,142	12,474	1,632	1,664	10,727
	育成複層林	53,166	293	229	237	120	133	1,368	15,116	20,653	11,834	1,524	1,661	9,308
天然林	総数	20,905	5,843	7,055	3,956	1,421	337	735	315	490	641	108	3	1,419
	育成単層林	182,950	0	0	11	25	706	5,410	5,656	4,261	1,629	203	165,048	36,838
	育成複層林	0												
天然林		29,587			4	25	651	5,406	5,583	4,200	1,599	203	11,915	5,280
天然生林		153,363			8	8	55	3	73	61	30	153,133		31,557

單位 面積:ha、材積:千m3

區	分	面											材積	
		積												
		總數	1·2 齡級	3·4 齡級	5·6 齡級	7·8 齡級	9·10 齡級	11·12 齡級	13·14 齡級	15·16 齡級	17·18 齡級	19·20 齡級		21齡級 以上
第VII分期	總數	257,020	4,507	7,301	6,768	1,666	1,175	4,371	13,895	24,262	20,136	5,933	167,006	47,428
	育成單層林	72,517	4,507	7,301	6,768	1,655	962	730	7,757	19,021	16,646	5,267	1,903	10,364
	育成複層林	50,588	260	303	218	170	100	281	7,160	18,921	16,301	4,977	1,898	8,683
	總數	21,930	4,248	6,998	6,550	1,485	862	449	597	100	345	290	5	1,682
	天然林	184,503	0	0	0	11	213	3,641	6,138	5,241	3,491	666	165,103	37,064
天然林	育成單層林	0												
	育成複層林	31,141				4	163	3,636	6,115	5,187	3,411	656	11,970	5,506
	天然生林	153,363				8	49	5	23	54	80	10	153,133	31,557

區	分	面											材積	
		積												
		總數	1·2 齡級	3·4 齡級	5·6 齡級	7·8 齡級	9·10 齡級	11·12 齡級	13·14 齡級	15·16 齡級	17·18 齡級	19·20 齡級		21齡級 以上
第VIII分期	總數	257,020	3,146	6,136	7,284	4,204	1,495	2,223	8,001	19,767	23,470	12,875	168,420	47,496
	育成單層林	71,023	3,146	6,136	7,284	4,193	1,462	395	1,869	13,680	18,749	11,004	3,104	10,223
	育成複層林	48,473	210	293	229	237	119	128	1,323	13,510	18,579	10,781	3,065	8,117
	總數	22,550	2,937	5,843	7,055	3,956	1,343	267	547	170	170	223	39	2,105
	天然林	185,997	0	0	0	11	32	1,828	6,131	6,087	4,721	1,870	165,316	37,274
天然林	育成單層林	0												
	育成複層林	32,634				4	32	1,773	6,128	6,014	4,660	1,841	12,183	5,716
	天然生林	153,363				8	55	3	73	61	30	153,133	31,557	

區	分	面											材積	
		積												
		總數	1·2 齡級	3·4 齡級	5·6 齡級	7·8 齡級	9·10 齡級	11·12 齡級	13·14 齡級	15·16 齡級	17·18 齡級	19·20 齡級		21齡級 以上
第IX分期	總數	257,020	2,361	4,507	7,301	6,768	1,595	1,558	4,918	13,287	23,385	18,803	172,537	47,658
	育成單層林	69,863	2,361	4,507	7,301	6,768	1,576	780	596	6,718	17,639	14,988	6,629	10,203
	育成複層林	46,951	214	260	303	218	169	96	267	6,426	17,604	14,868	6,526	7,590
	總數	22,912	2,147	4,248	6,998	6,550	1,407	683	329	292	35	120	103	2,613
	天然林	187,158	0	0	0	0	19	779	4,322	6,569	5,746	3,816	165,908	37,455
天然林	育成單層林	0												
	育成複層林	33,795				11	729	4,317	6,545	5,692	3,736	12,765	5,897	
	天然生林	153,363				8	49	5	23	54	80	153,143	31,557	

釧路根室国有林の地域別の森林計画書

別添 林道開設計画図

計画期間 自 令和 3年 4月 1日
至 令和13年 3月31日

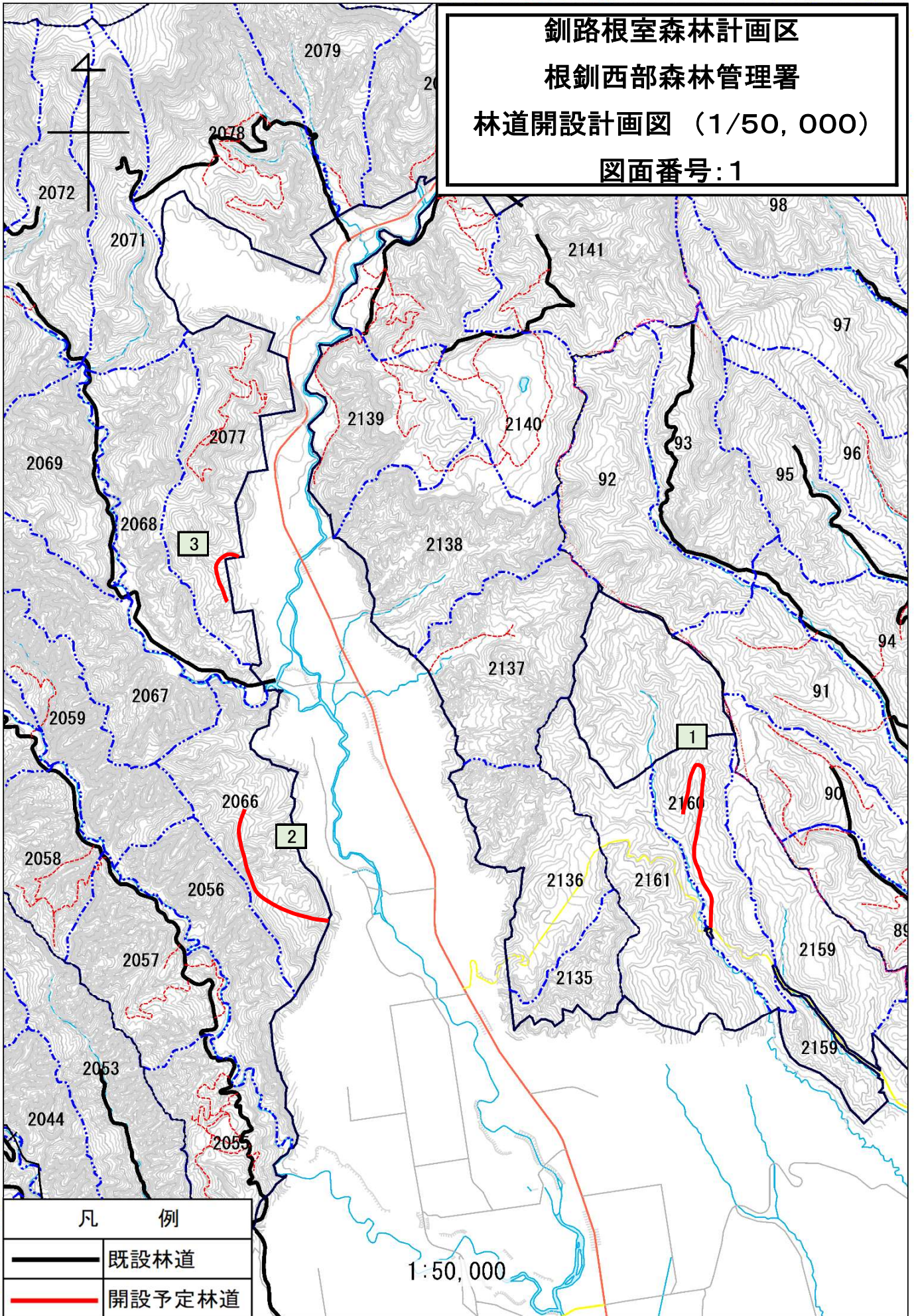
開設林道路線一覽表

森林計画区	森林管理(支)署	市町村	図面番号	路線番号	路 線 名	代表林班	延長(km)
釧路根室	根釧西部	釧路市	1	1	上幌鹿	2160	2.4
				2	徹別発電沢	2066	1.6
				3	徹別熊の沢	2077	0.6
		釧路町	2	4	3 7 林班	37	1.0
		標茶町	3	5	西丸山	3418	1.1
				4	オソベツ第2支線	4465	1.5
				5	P F 第6支線	304	2.1
		弟子屈町	6	8	第2沼の湯	4295	1.3
				7	第2美羅尾支線	4099	1.6
				8	琴似川	4162	1.1
		鶴居村	9	11	ポン新幌呂1	99	1.1
		白糠町	10	12	白糠庶路横断	1010	4.0
				13	セタラ沢	1008	1.5
		根釧東部	中標津町	11	14	養老牛迂回線	436
	15				虹別第5支線	438	1.1
	12			16	499林班線	499	2.0
	11			17	道虹線	455	1.4
				18	454林班線	454	2.7
※ 図面上で開設林道路線は赤い線で表記						釧路根室森林計画区計	29.2

釧路根室森林計画区の位置図



釧路根室森林計画区
根釧西部森林管理署
林道開設計画図 (1/50,000)
図面番号: 1

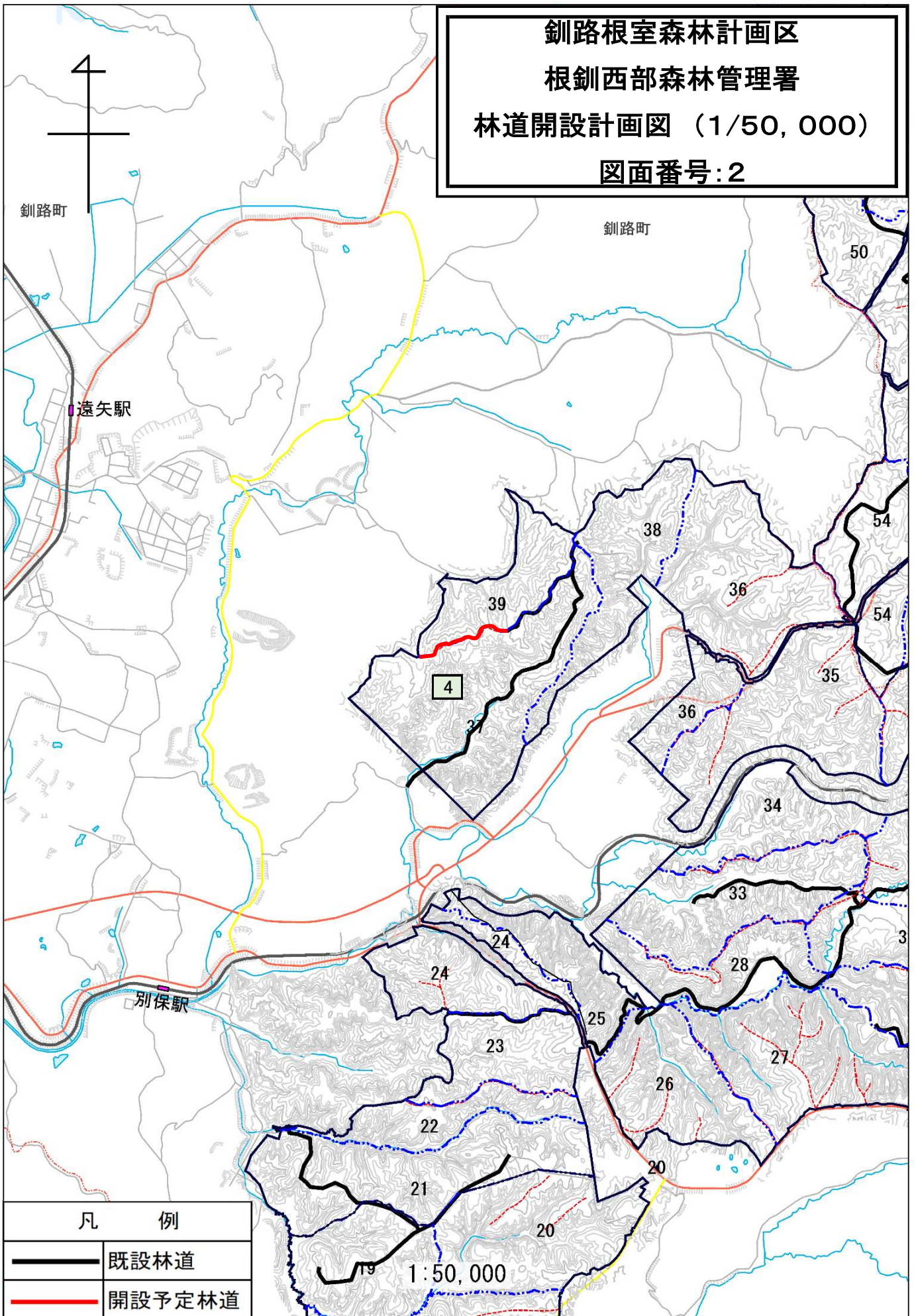


凡 例

	既設林道
	開設予定林道

1:50,000

釧路根室森林計画区
根釧西部森林管理署
林道開設計画図 (1/50,000)
図面番号: 2

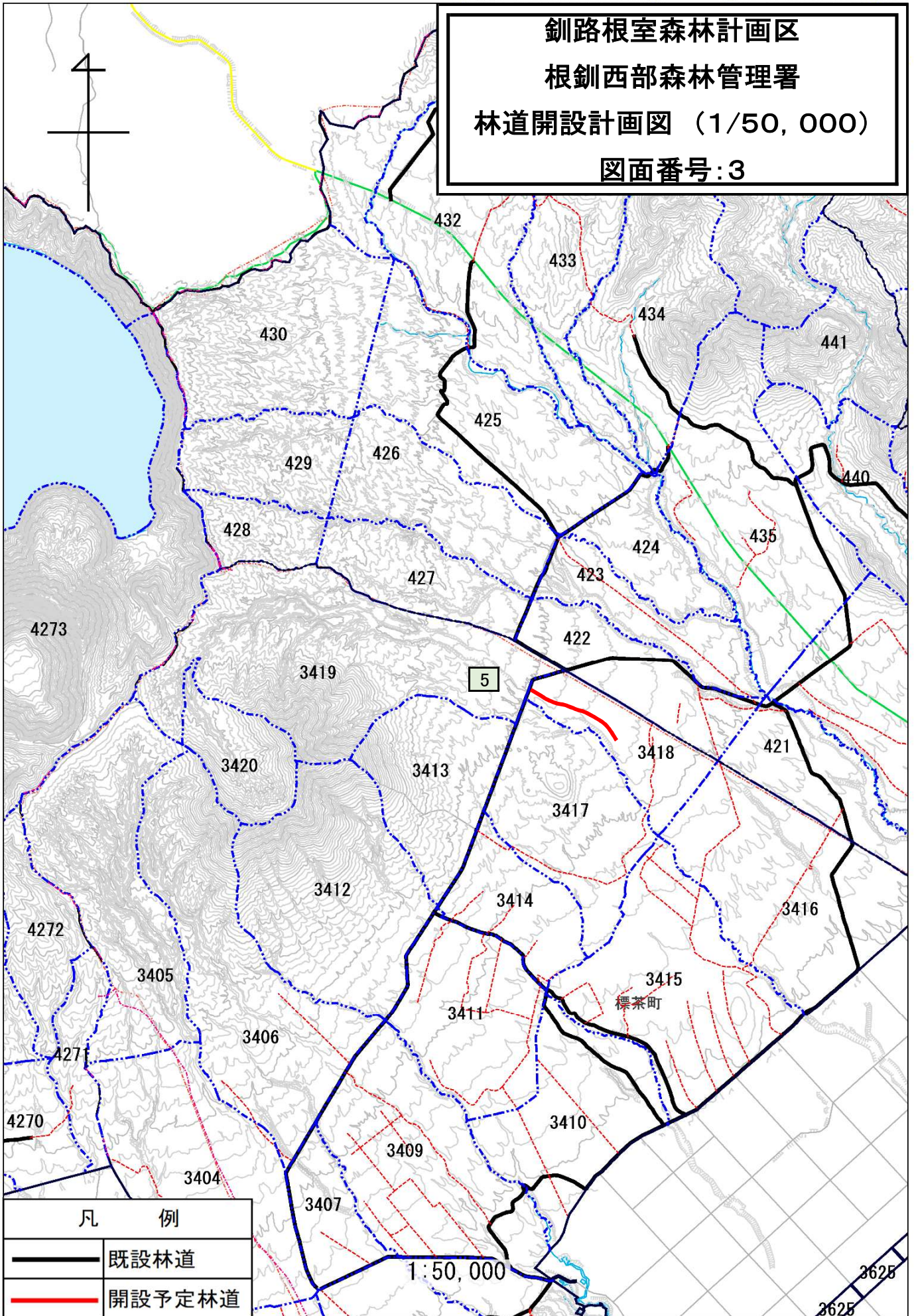


凡 例

	既設林道
	開設予定林道

1 : 50, 000

釧路根室森林計画区
根釧西部森林管理署
林道開設計画図 (1/50,000)
図面番号:3



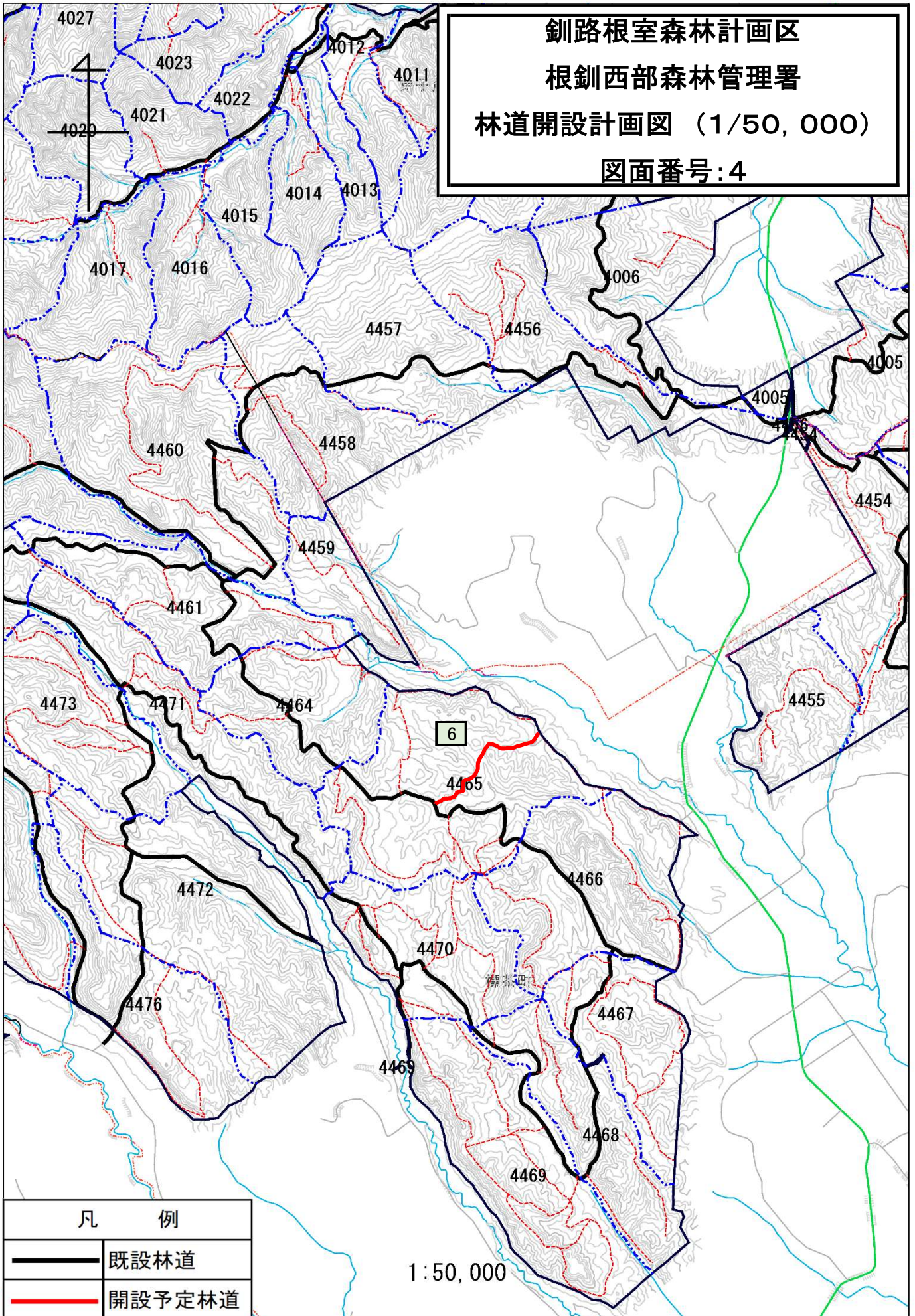
凡 例

	既設林道
	開設予定林道

1 : 50,000

3625
3625

釧路根室森林計画区
根釧西部森林管理署
林道開設計画図 (1/50,000)
図面番号:4

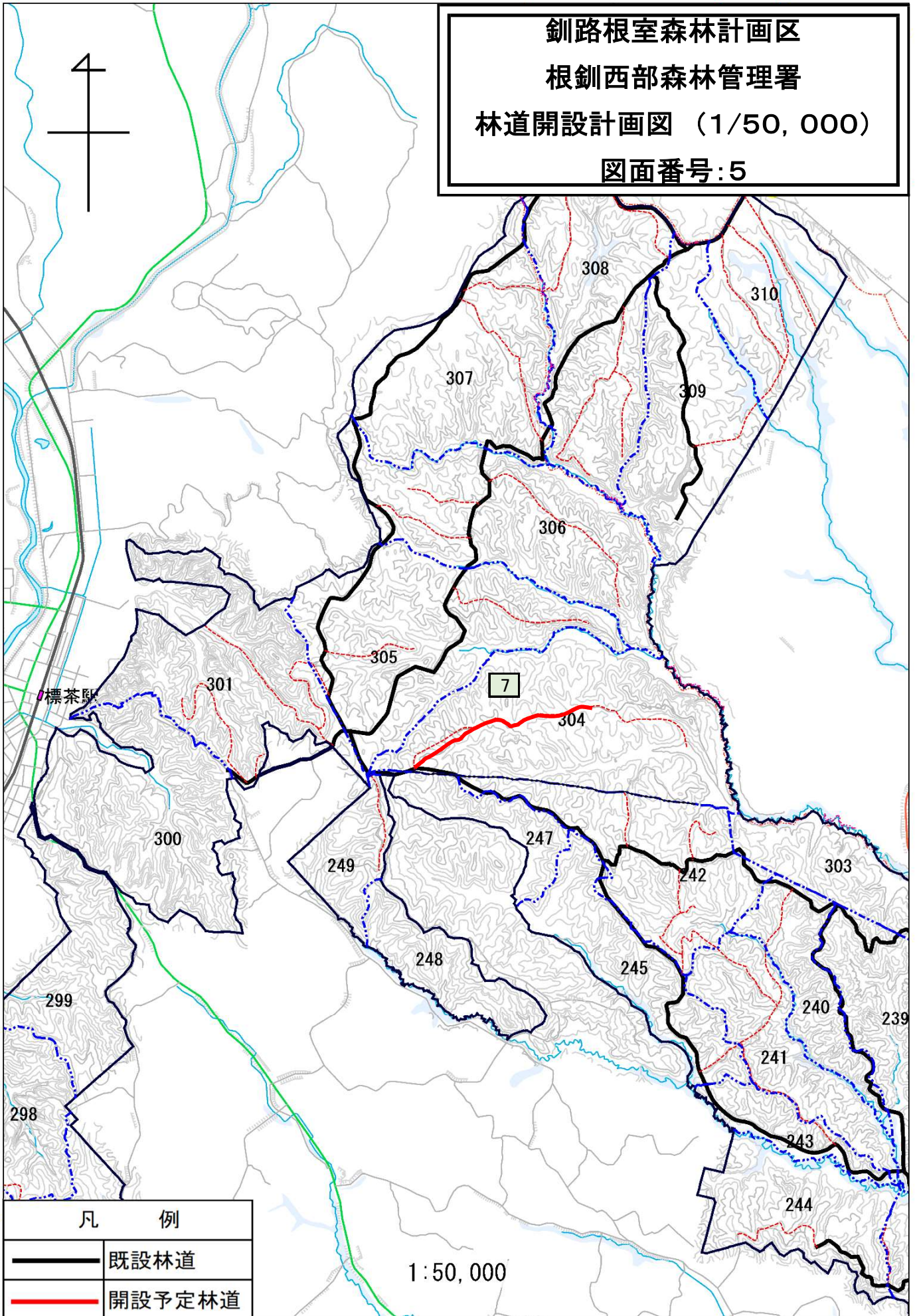
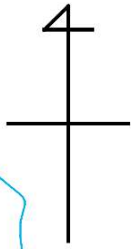


凡 例

	既設林道
	開設予定林道

1:50,000

釧路根室森林計画区
根釧西部森林管理署
林道開設計画図 (1/50,000)
図面番号:5

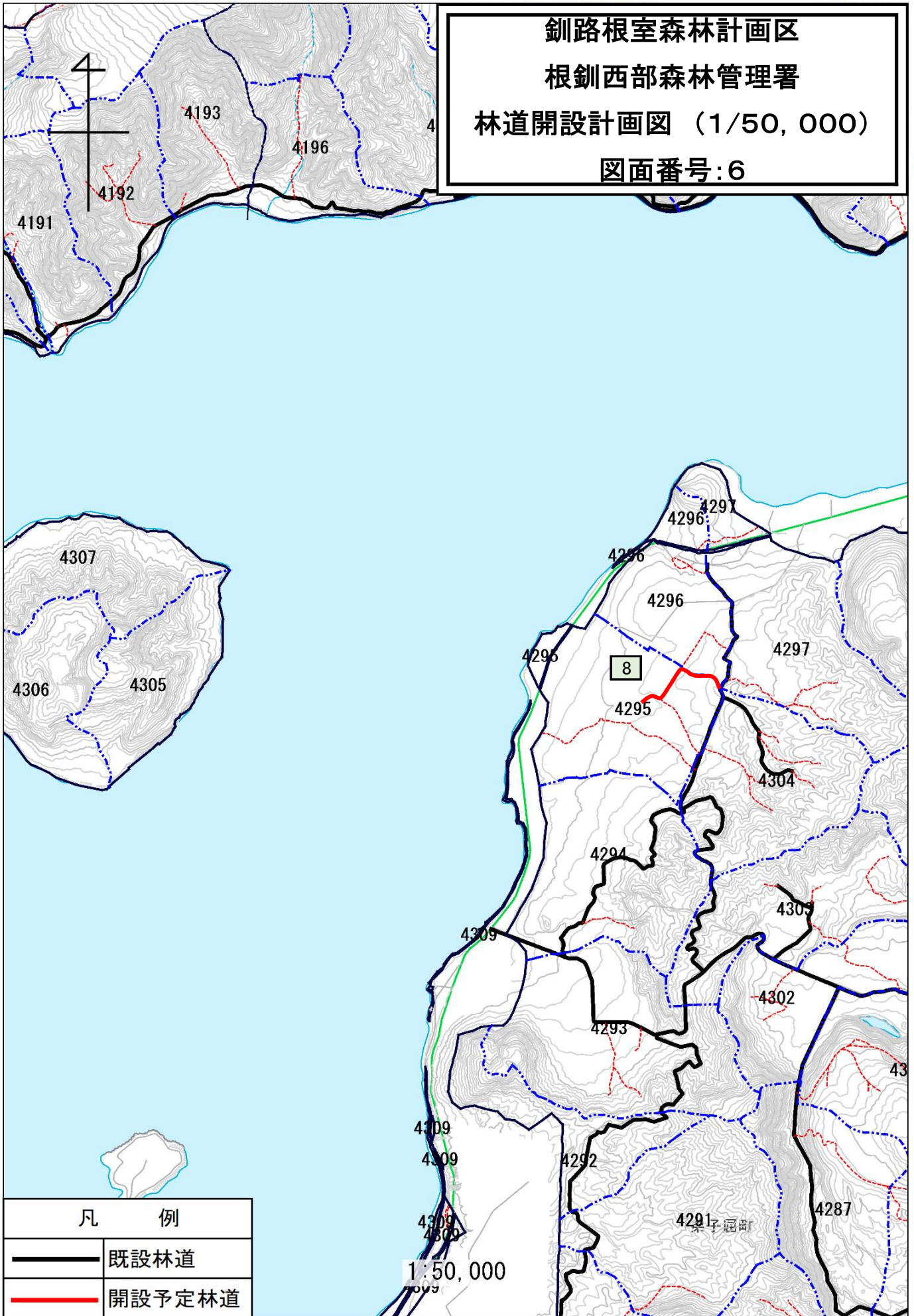


凡 例

	既設林道
	開設予定林道

1:50,000

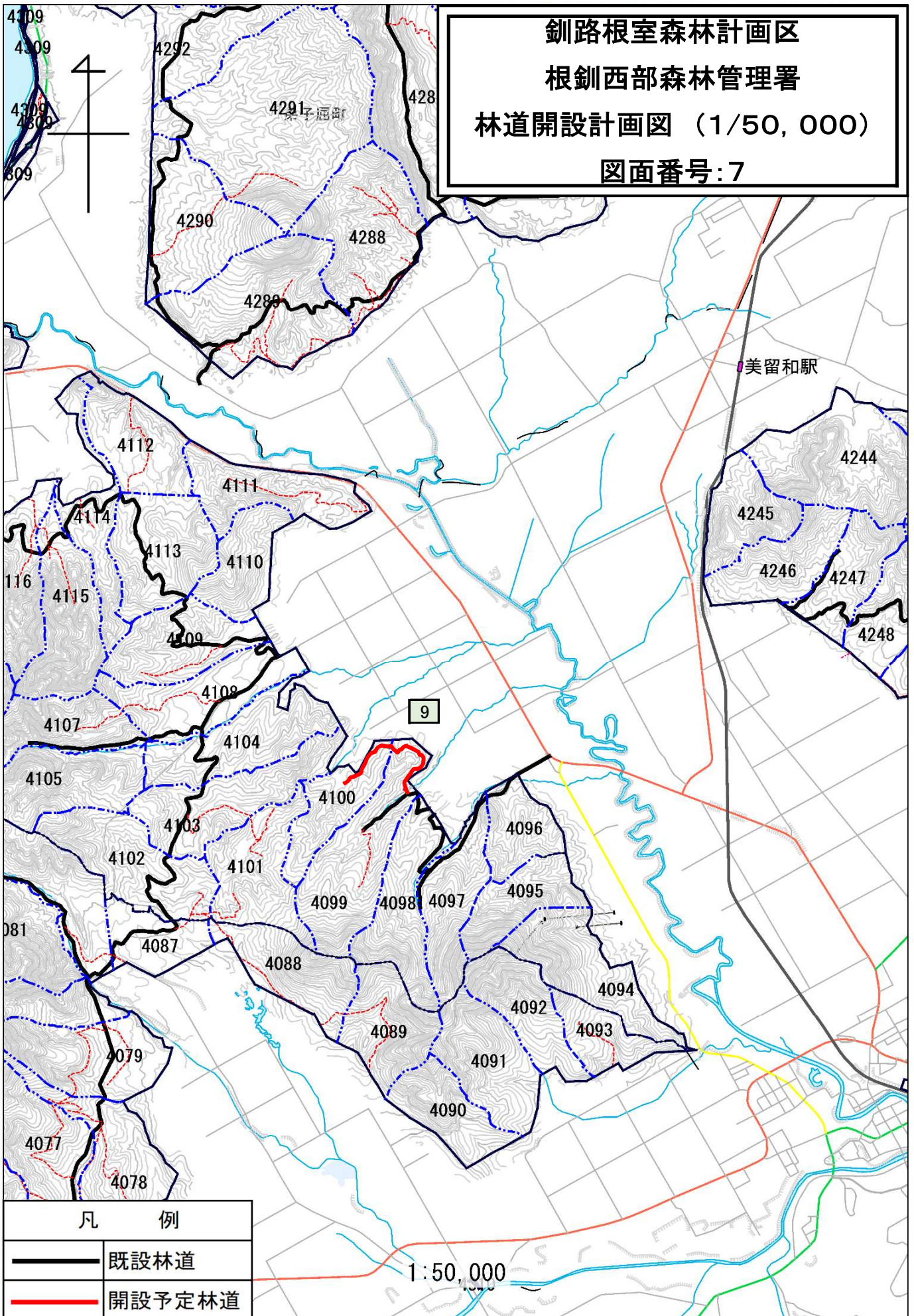
釧路根室森林計画区
根釧西部森林管理署
林道開設計画図 (1/50,000)
図面番号:6



凡 例	
	既設林道
	開設予定林道

1:50,000

釧路根室森林計画区
根釧西部森林管理署
林道開設計画図 (1/50,000)
図面番号: 7

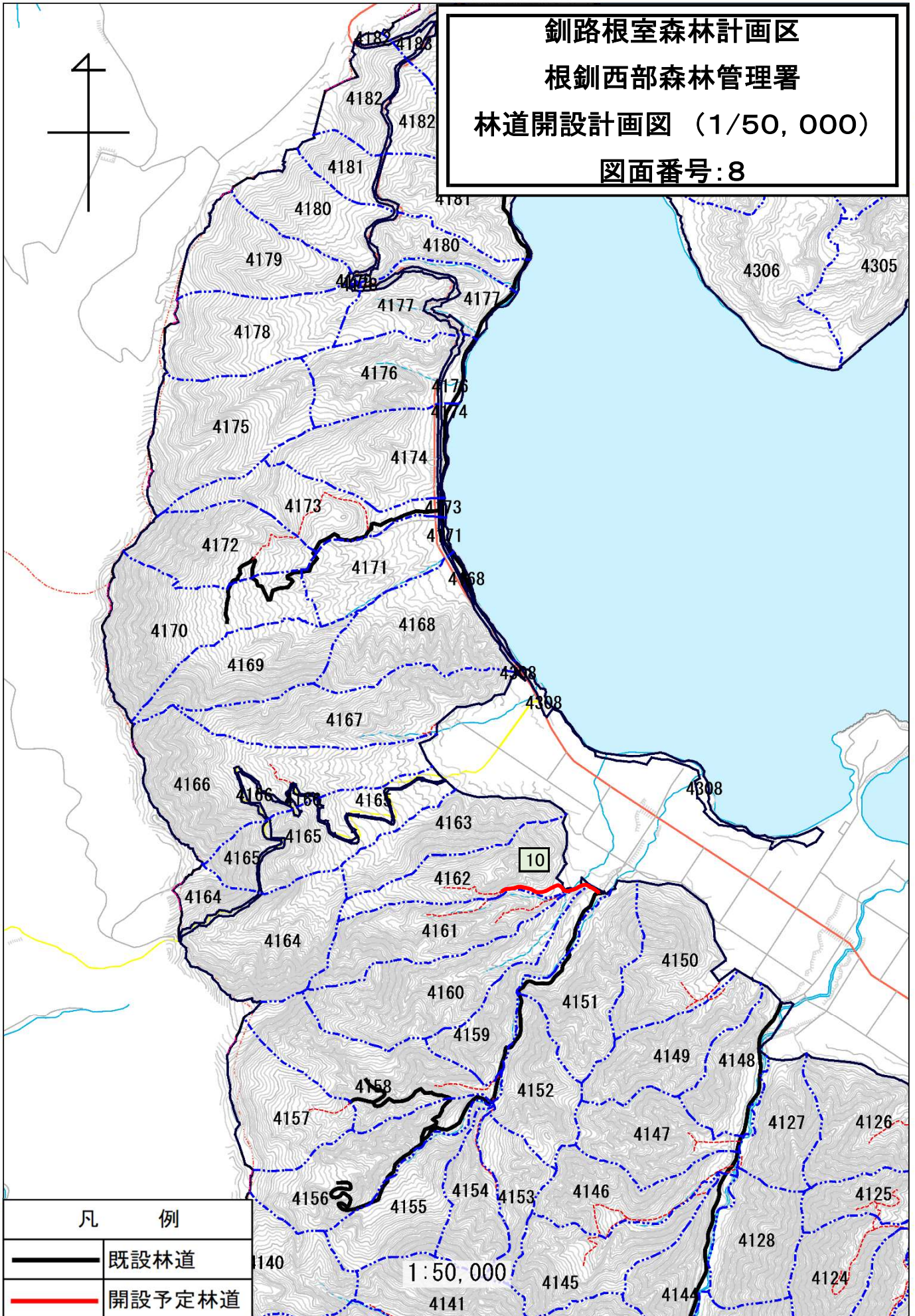


凡 例

	既設林道
	開設予定林道

1:50,000

釧路根室森林計画区
根釧西部森林管理署
林道開設計画図 (1/50,000)
図面番号: 8

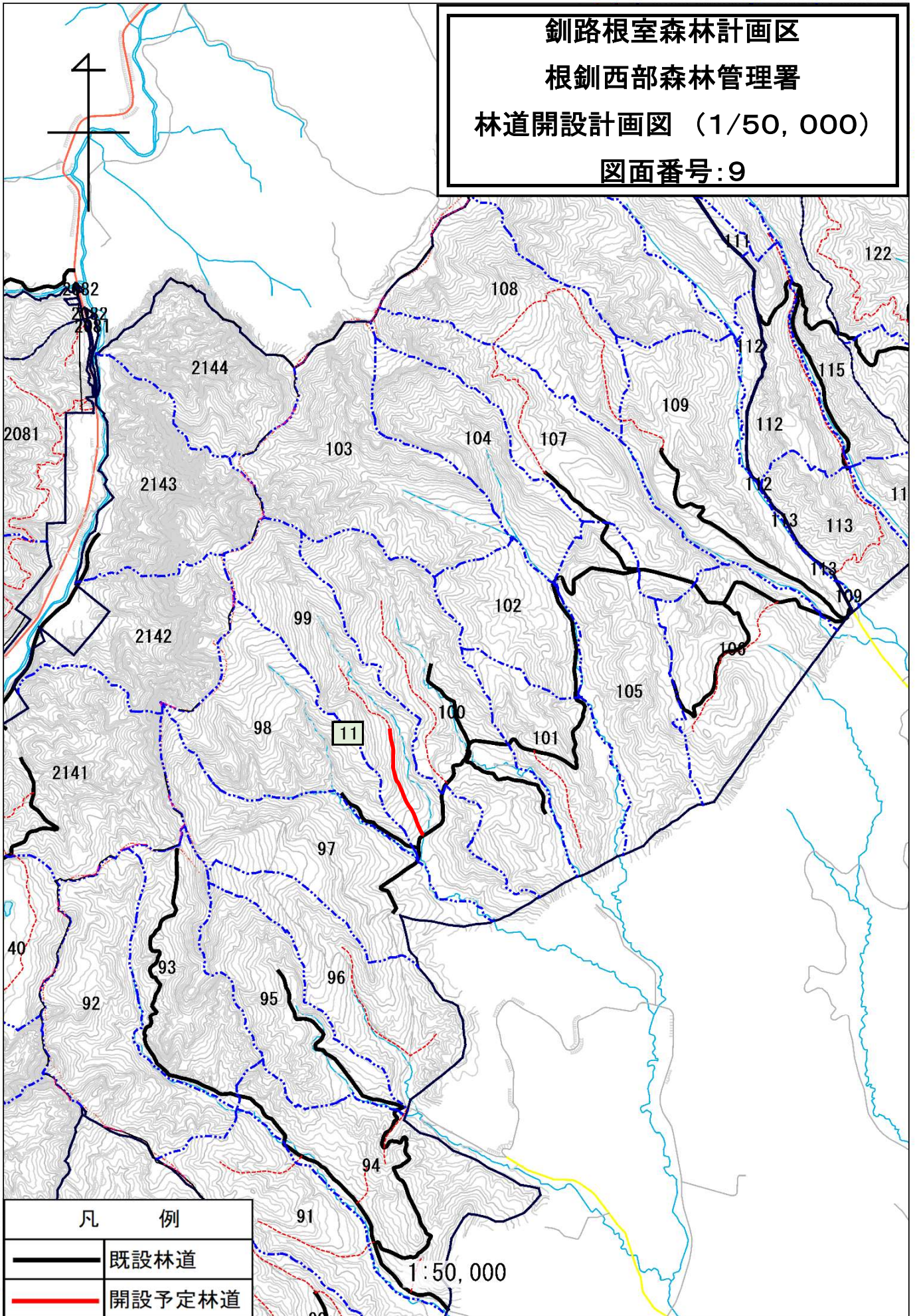


凡 例

	既設林道
	開設予定林道

1 : 50,000

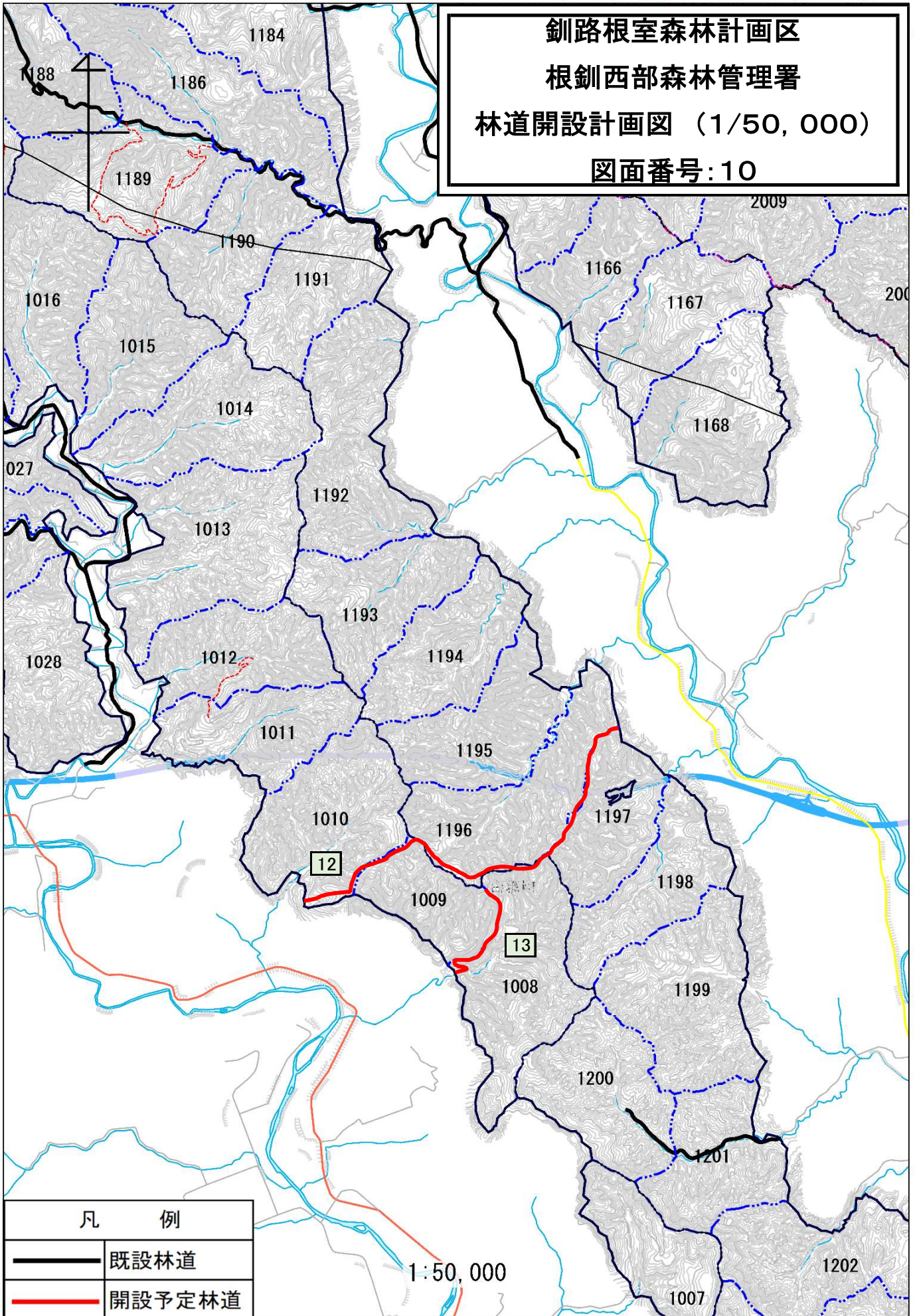
釧路根室森林計画区
根釧西部森林管理署
林道開設計画図 (1/50,000)
図面番号:9



凡 例	
	既設林道
	開設予定林道

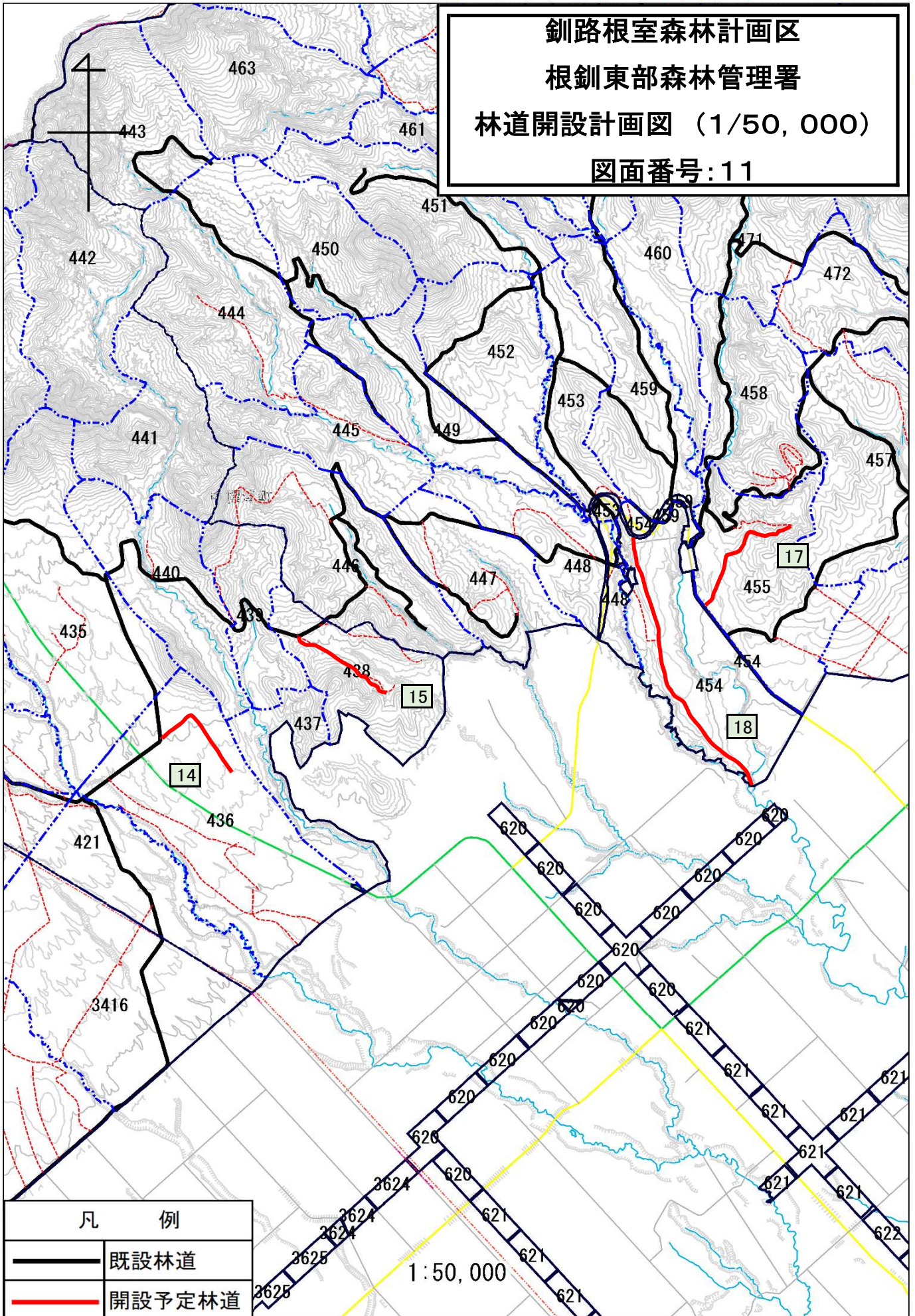
1 : 50,000

釧路根室森林計画区
根釧西部森林管理署
林道開設計画図 (1/50,000)
図面番号: 10



凡 例	
	既設林道
	開設予定林道

釧路根室森林計画区
根釧東部森林管理署
林道開設計画図 (1/50,000)
図面番号: 11



凡 例	
	既設林道
	開設予定林道

釧路根室森林計画区
根釧東部森林管理署
林道開設計画図 (1/50,000)
図面番号: 12

